

2025年7月10日

各位

ジブラルタ生命保険株式会社

教員の意識に関する調査 2025

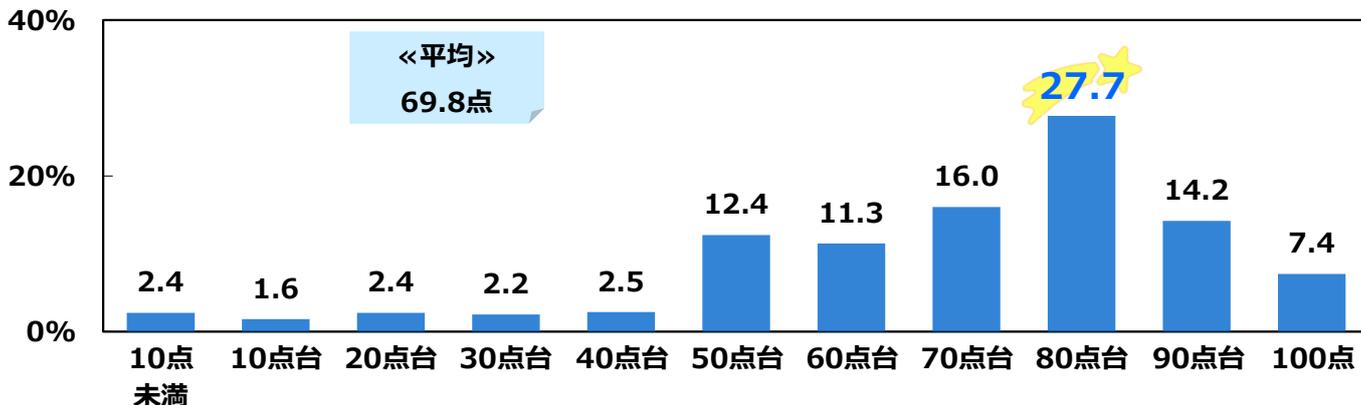
～「先生が子どもの頃に嫌いだったのは何の教科だったと思う？」～

ジブラルタ生命保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：蕪木 広義）は、20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（男性1,283名 女性717名）を対象に、「教員の意識に関する調査2025」をインターネットリサーチで実施し、集計結果を公開しました。（調査協力会社：ネットエイジア株式会社）

◆教員生活の充実度を 100 点満点で表すと？ 平均は 69.8 点

自身の教員生活の充実度を点数（100点満点）で表すと何点になるか聞くと、「80点台」に最も多くの回答が集まりました。また、「50点台」や「60点台」、「70点台」、「90点台」にも回答が多くみられ、平均は69.8点でした。

Q. 自身の教員生活の充実度を点数（100点満点）で表すと？



◆子どもの頃に嫌いだった教科

男性では 1 位「国語」2 位「保健・体育」、女性では 1 位「保健・体育」2 位「算数・数学」

子どもの頃に嫌いだった教科を聞くと、男性では1位「国語」、2位「保健・体育」、3位「算数・数学」、4位「音楽」、5位「美術・図工」となりました。

女性では1位「保健・体育」、2位「算数・数学」、3位「社会」、4位「美術・図工」、5位「理科」となりました。

Q. 子どもの頃に嫌いだった教科は？

男性[n=1283]			女性[n=717]		
1位	国語	177名	1位	保健・体育	152名
2位	保健・体育	144名	2位	算数・数学	137名
3位	算数・数学	141名	3位	社会	78名
4位	音楽	121名	4位	美術・図工	65名
5位	美術・図工	118名	5位	理科	63名

◆子どもの頃に就きたかった職業 男性・女性ともに3年連続で「教員」が1位に

子どもの頃に就きたかった職業を聞くと、男性・女性ともに1位は「教員」となりました。男女ともに子どもの頃の夢を叶えた人が多いようです。以降、男性では2位「プロスポーツ選手」、女性では2位「保育士・幼稚園教諭」、3位は男女ともに「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」となりました。

Q. 子どもの頃に就きたかった職業は？

男性【n=1283】			女性【n=717】		
1位	教員	33.7%	1位	教員	39.2%
2位	プロスポーツ選手	20.0%	2位	保育士・幼稚園教諭	14.2%
3位	公務員	14.0%	3位	公務員	12.8%
4位	パイロット	9.7%	4位	キャビンアテンダント	8.5%
5位	大学教授・研究者	8.0%	5位	料理人・パティシエ	7.9%



◆教師として職場に入ってきてほしい有名人 男性回答・女性回答ともに1位「大谷翔平さん」

教師として職場に入ってきてほしい有名人を聞くと、男性回答・女性回答ともに「大谷翔平さん」が1位となりました。理由として、「ストイックで真面目で、生徒に多大な良い影響を与えてくれそうだから」、「常に向上心をもっていて目標を達成できる努力家なので、言葉に説得力があるから」、「努力することの大切さを上手に子どもたちに伝えることができそうだから」といった回答が挙げられました。努力家でストイックなイメージから大谷翔平さんに生徒のロールモデルとなってほしいと感じている人が多いようです。以降、男性では2位「イチローさん」、3位「武田鉄矢さん」、4位「明石家さんまさん」、5位「阿部寛さん」、女性では2位「天海祐希さん」、3位「明石家さんまさん」、4位「大泉洋さん」、5位「武田鉄矢さん」となりました。

Q. 教師として職場に入ってきてほしい有名人は？

男性【n=1283】			女性【n=717】		
1位	大谷翔平	61名	1位	大谷翔平	48名
2位	イチロー	36名	2位	天海祐希	27名
3位	武田鉄矢	34名	3位	明石家さんま	20名
4位	明石家さんま	24名	4位	大泉洋	16名
5位	阿部寛	17名	5位	武田鉄矢	13名



調査結果 index

◆教職について

……p.5～9

- ・**教員になりたいと思った理由** 「教えることが好きだから」は40%、女性では3人に1人が「収入が安定しているから」
- ・**教員生活の充実度を100点満点で表すと?** 平均は69.8点
- ・**教員としてどのようなときにやりがいを感じる?** 1位「児童・生徒の成長が感じられたとき」
2位「児童・生徒の笑顔を見たとき」3位「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」
- ・**理想の教員像** 1位「授業がわかりやすい」2位「児童・生徒のやる気を引き出している」
20代では「児童・生徒から慕われている」がTOP2入り
- ・**今後のキャリア目標は?** 「現状維持」がダントツ、20代では「転職する」が5人に1人

◆教員の働き方・現場への意識について

……p.10～12

- ・**教員の働き方や教職の現場に対する満足度** 「学校における働き方改革の進捗状況」では48%、
「仕事とプライベートのバランス」では59%、「職場の教員数」では34%、
「職場における生成AIの活用状況」では37%、「職員室の環境」では54%、「外部人材の活用状況」では42%

◆業務における苦勞について

……p.13～16

- ・**十分に時間を割けていないと感じる業務** 小学校の教員と特別支援学校の教員では「授業の準備」が半数以上
- ・**教員の業務において苦勞していること** 「保護者とのコミュニケーション」は3人に1人
- ・**「仕事の悩みを相談する相手がいる」**77% 女性では87%、**相談する相手** 1位は「同世代の教員」

◆スクールカウンセラー・スクールロイヤーについて

……p.17～18

- ・**スクールカウンセラー、スクールロイヤーの在籍率** 「スクールカウンセラー」は80%、「スクールロイヤー」は14%
- ・**スクールカウンセラーが自身の学校にいない人の65%が「スクールカウンセラーが必要だと思ったことがある」と回答、**
スクールロイヤーが自身の学校にいない人では64%が**スクールロイヤーの必要性を実感した経験あり**

◆子どもたちからもらうコトバについて

……p.19～20

- ・**児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ** 「ありがとう」がダントツ
2位「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」3位「勉強が好きになった、面白く・楽しくなった」
- ・**児童・生徒から言われて最もへこんだコトバ** 1位「授業がわからない・わかりにくい、下手」

◆子どもたちに身につけてほしいことについて

……p.21

- ・**児童・生徒に身につけてほしいこと** 1位「優しさ・思いやり」、20代では「コミュニケーション能力」が1位

◆子どもに薦めたい映画・YouTubeチャンネルについて

……p.22～23

・児童・生徒に最も薦めたい映画

- 1位「火垂るの墓」2位「ショーシャンクの空に」3位「バック・トゥ・ザ・フューチャー」「となりのトトロ」
30代では「ハリー・ポッター」が1位

・児童・生徒に最も薦めたいYouTubeチャンネル

- 1位「HikakinTV」2位「エガちゃんねる EGA-CHANNEL」
3位「両学長リベラルアーツ大学」「中田敦彦のYouTube大学 - NAKATA UNIVERSITY」

◆“教員あるある”について

……p.24

・“教員あるある”TOP3

「夏休みがあつていいねと言われる」「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」

◆教科に対する意識・実感について

……p.25～30

・子どもの頃に好きだった教科1位 男性・女性ともに「算数・数学」

好きだった理由は？ 国語「たくさんの世界観がもてたから」、算数・数学「計算の仕組みや考え方が楽しい」、英語「国際社会の窓口と感じた」、理科「実験が好きだから」、社会「歴史が好きだった」、保健・体育「体を動かすのが気持ちいい」、音楽「楽器を演奏することや歌うことが好きだったため」など

・子どもの頃に嫌いだった教科

男性では1位「国語」2位「保健・体育」、女性では1位「保健・体育」2位「算数・数学」

嫌いだった理由は？ 国語「答えが明確でないから」、算数・数学「どう役に立つかわからなかったから」、理科「化学式など暗記することが苦手だった」、社会「興味ももてず、頭に入らなかった」、保健体育「集団ゲームで、足を引っ張るので」、美術・図工「絵を思うように描けなかった」、音楽「人前で歌のテストがある」など

・大人になって実は役立つということがわかった教科 男性1位「算数・数学」、女性1位「技術・家庭」

役立つシーン・役立つことがわかった場面は？ 国語「気持ちを表現するには語彙が必要」、算数・数学「考え方の訓練をするのに有効とわかった」、英語「抵抗感がなく外国の方と接する」、社会「身の回りの見え方が変わる」、技術・家庭「すべて実生活に結びついている」など

◆職業観・結婚観について

……p.31～34

・子どもの頃に就きたかった職業 男性・女性ともに3年連続で「教員」が1位に

・生まれ変わったら就きたい職業 男性・女性ともに1位は「教員」

男性では2位「プロスポーツ選手」、女性では2位「公務員」

・どのような職業の人と結婚した？ 女性では昨年2位の「教員」が1位に

・どのような職業の人と結婚したい？ 未婚男性では「医師」がTOP5入り、未婚女性では「教員」が3位に

◆教員・学校×有名人・ドラマ

……p.35～36

・教師として職場に入ってきてほしい有名人 男性回答・女性回答ともに1位「大谷翔平さん」

・これまでに最もハマった教師ドラマ 1位は「3年B組金八先生」、20代・30代では「ごくせん」が1位



本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563

アンケート調査結果

◆教職について

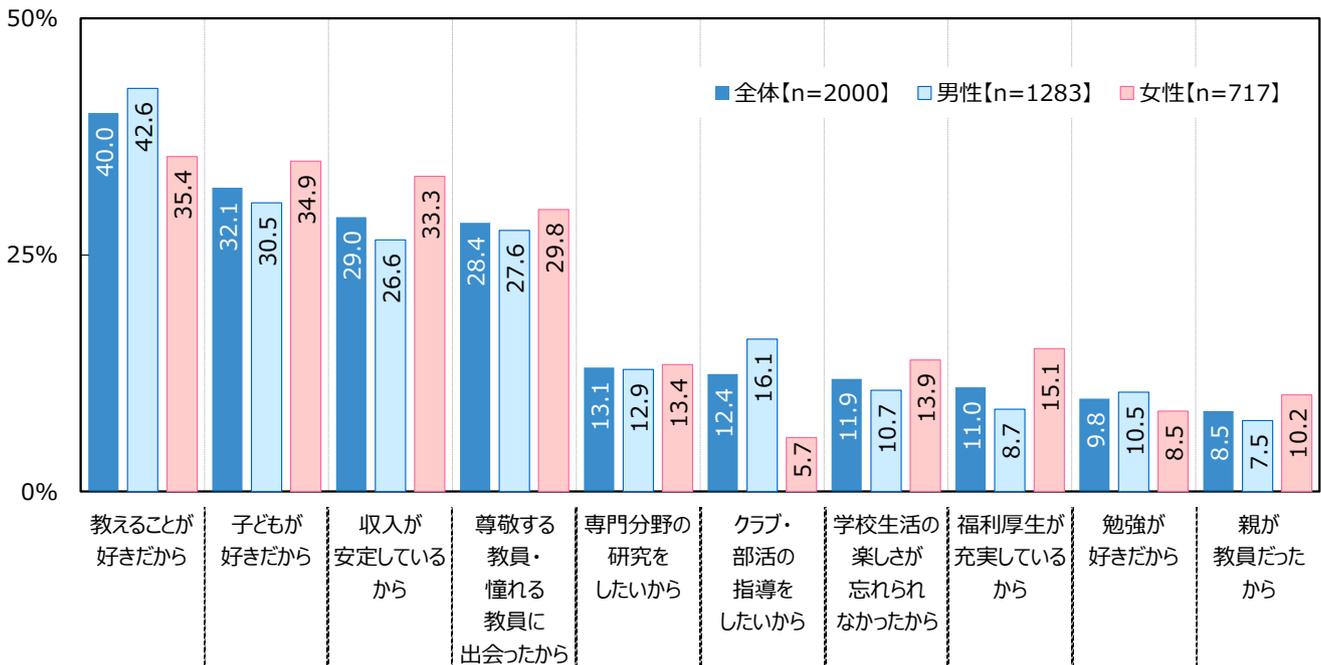
◆教員になりたいと思った理由「教えることが好きだから」は40%、女性では3人に1人が「収入が安定しているから」

全国の20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）2,000名（全回答者）に対し、教職について質問しました。

まず、全回答者（2,000名）に、教員になりたいと思った理由を聞いたところ、最も高くなったのは「教えることが好きだから」（40.0%）でした。次いで、「子どもが好きだから」（32.1%）、「収入が安定しているから」（29.0%）、「尊敬する教員・憧れる教員に出会ったから」（28.4%）、「専門分野の研究をしたいから」（13.1%）となりました。

男女別にみると、男性では女性と比較して「教えることが好きだから」（男性42.6%、女性35.4%）は5ポイント以上、「クラブ・部活の指導をしたいから」（男性16.1%、女性5.7%）は10ポイント以上高くなりました。一方、「収入が安定しているから」（男性26.6%、女性33.3%）、「福利厚生が充実しているから」（男性8.7%、女性15.1%）は男性より女性のほうが5ポイント以上高くなりました。女性では安定したキャリアを求めて教職を選択した人も多いのではないのでしょうか。

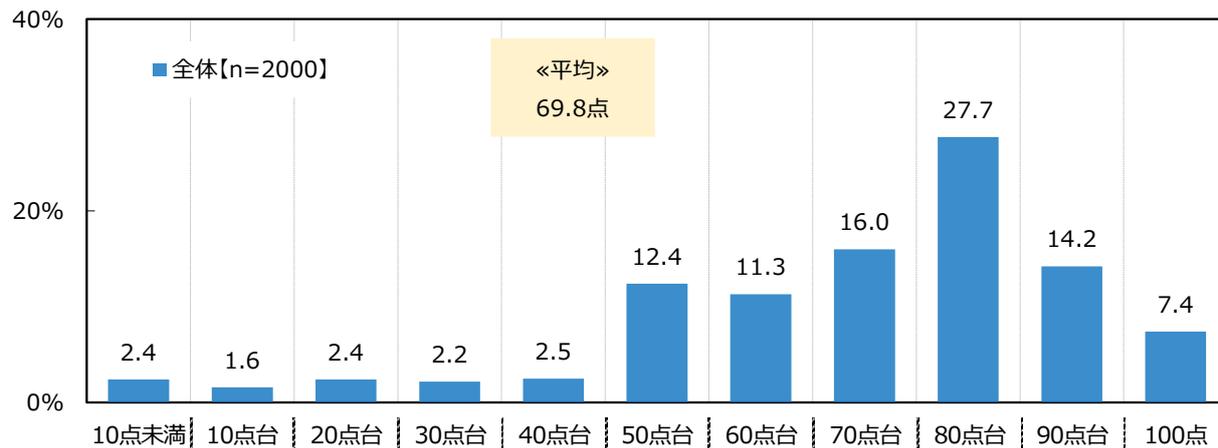
◆教員になりたいと思った理由（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・教員生活の充実度を 100 点満点で表すと？ 平均は 69.8 点

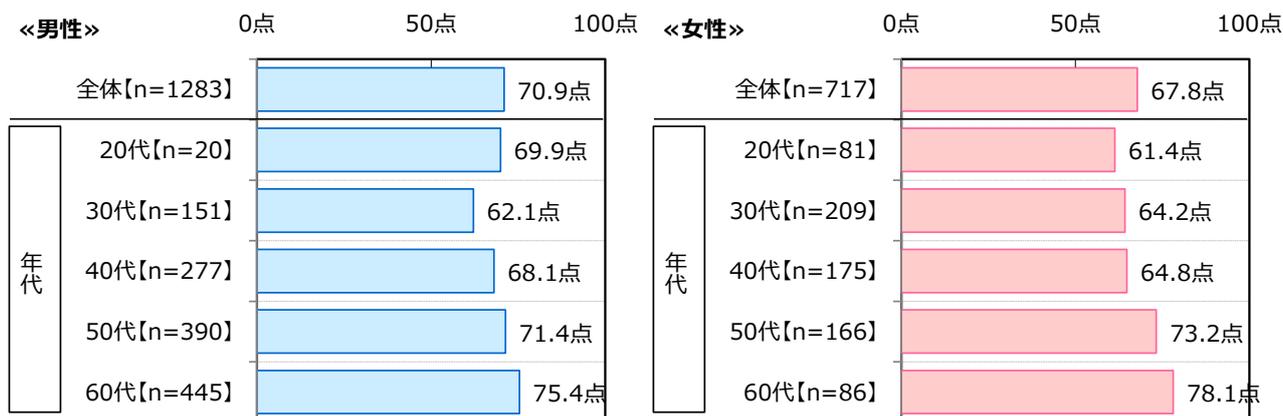
次に、自身の教員生活の充実度を点数（100 点満点）で表すと何点になるか聞いたところ、「80 点台」（27.7%）に最も多くの回答が集まりました。また、「50 点台」（12.4%）や「60 点台」（11.3%）、「70 点台」（16.0%）、「90 点台」（14.2%）にも回答が多くみられ、平均は 69.8 点でした。

◆自身の教員生活の充実度を点数（100点満点）で表すと何点になるか（数値入力形式）



男女別にみると、充実度の平均は、男性では 70.9 点、女性では 67.8 点となりました。また、男性・女性ともに年代が上がるにつれ充実度の平均が高くなる傾向がみられました。男女ともに最も高くなった 60 代の平均は、男性では 75.4 点となり、女性では 78.1 点となりました。教員としての経験を重ね、充実度が上がっていくのではないのでしょうか。

◆自身の教員生活の充実度（平均）



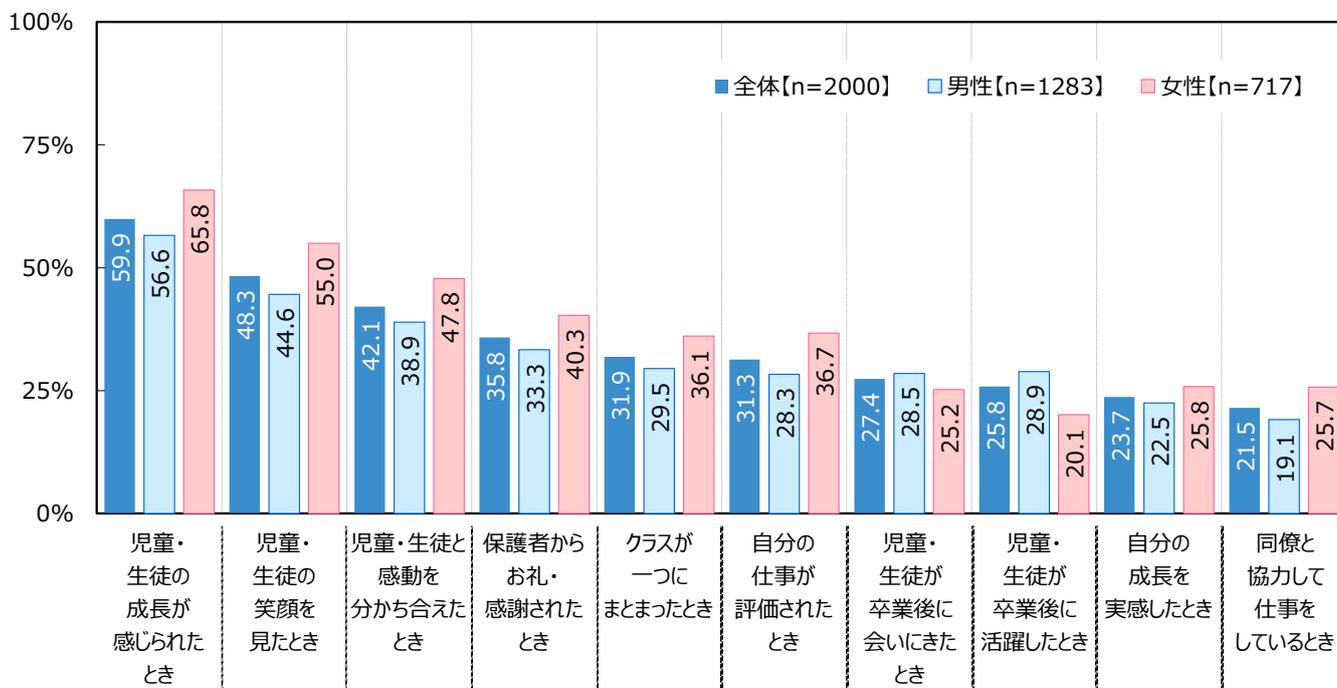
・教員としてどのようなときにやりがいを感じる？ 1位「児童・生徒の成長が感じられたとき」

2位「児童・生徒の笑顔を見たとき」3位「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」

教員としてどのようなときにやりがいを感じるか聞いたところ、「児童・生徒の成長が感じられたとき」(59.9%)が最も高くなりました。子どもの成長している姿を見ることがモチベーションにつながるという人も多いのではないのでしょうか。次いで、「児童・生徒の笑顔を見たとき」(48.3%)、「児童・生徒と感動を分かち合えたとき」(42.1%)、「保護者からお礼・感謝されたとき」(35.8%)、「クラスが一つにまとまったとき」(31.9%)の順となりました。

男女別にみると、「児童・生徒が卒業後に活躍したとき」(男性 28.9%、女性 20.1%)は女性と比べて男性のほうが5ポイント以上高くなりました。また、女性では「児童・生徒の笑顔を見たとき」(男性 44.6%、女性 55.0%)が男性と比べて10ポイント以上高くなりました。

◆教員としてどのようなときにやりがいを感じるか (複数回答形式) ※上位10位までを表示



・理想の教員像 1位「授業がわかりやすい」2位「児童・生徒のやる気を引き出している」

20代では「児童・生徒から慕われている」がTOP2入り

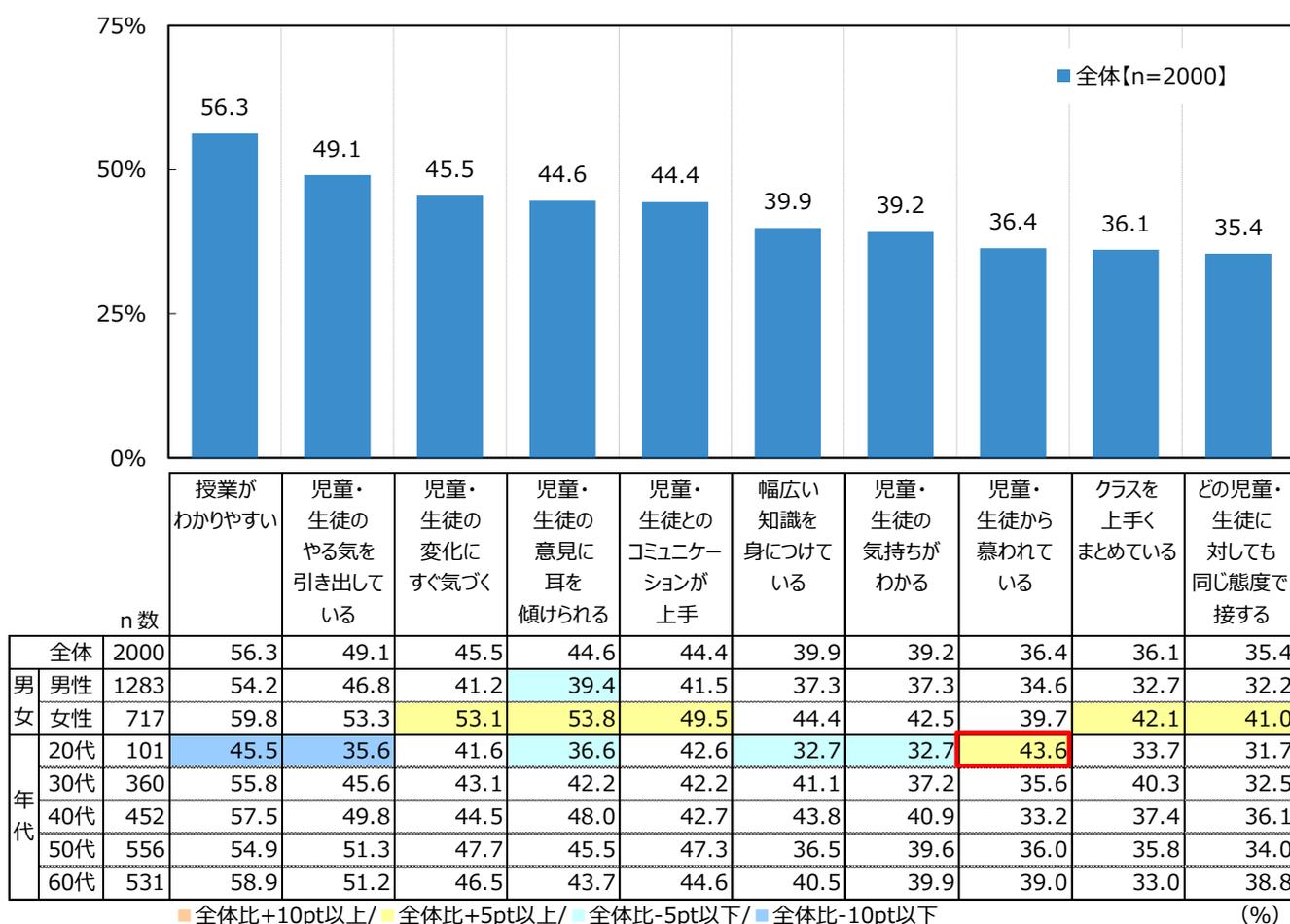
続いて、理想の教員のイメージについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、理想の教員像を聞いたところ、最も高かったのは「授業がわかりやすい」（56.3%）でした。以降、「児童・生徒のやる気を引き出している」（49.1%）、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（45.5%）、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（44.6%）、「児童・生徒とのコミュニケーションが上手」（44.4%）が続きました。

男女別にみると、「児童・生徒の変化にすぐ気づく」（男性41.2%、女性53.1%）、「児童・生徒の意見に耳を傾けられる」（男性39.4%、女性53.8%）では男性と比べて女性のほうが10ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、20代では「児童・生徒から慕われている」（43.6%）が2位でした。

◆理想の教員像（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・今後のキャリア目標は？「現状維持」がダントツ、20代では「転職する」が5人に1人

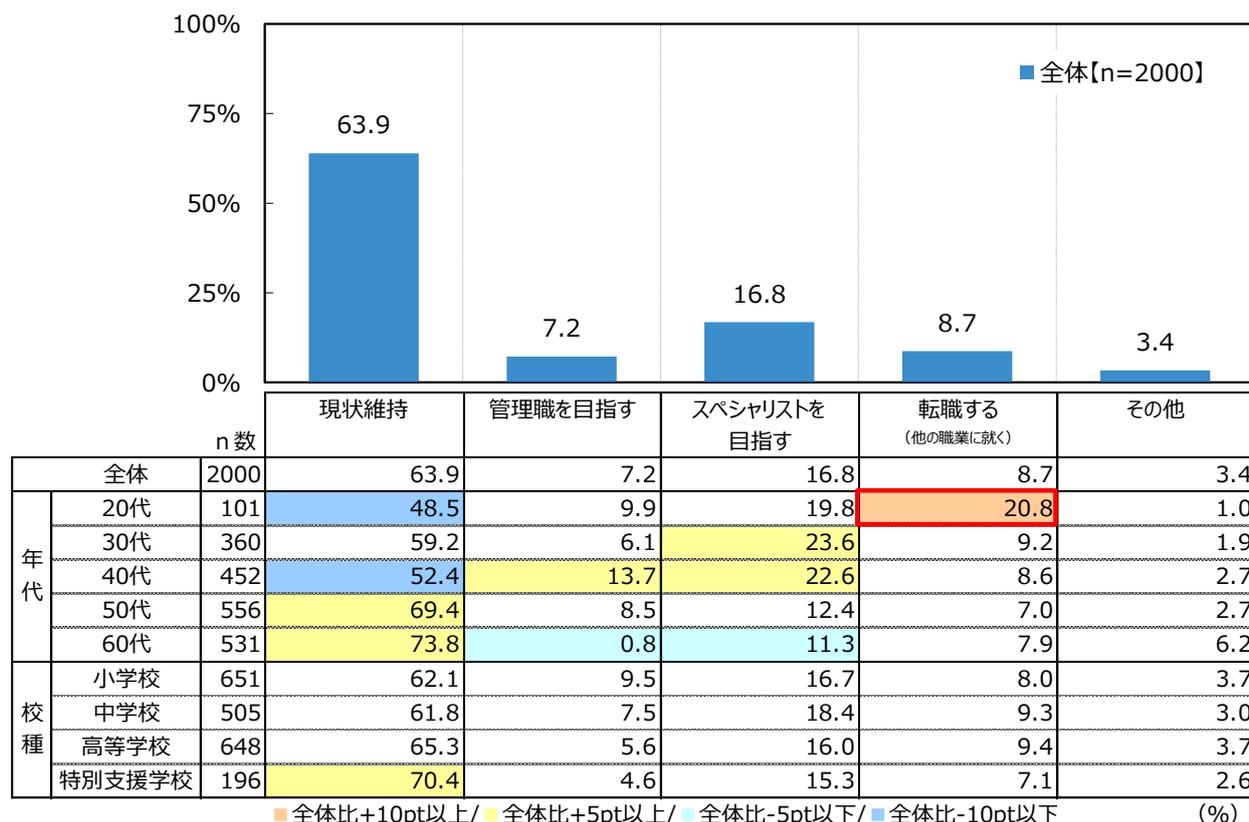
キャリア目標について質問しました。

全回答者（2,000名）に、今後、どのようなキャリアを望むか聞いたところ、「現状維持」は63.9%と、ダントツとなりました。そのほか、「管理職を目指す」は7.2%、「スペシャリストを目指す」は16.8%、「転職する（他の職業に就く）」は8.7%となりました。

年代別にみると、20代では「転職する（他の職業に就く）」が20.8%と、5人に1人が転職を希望していることがわかりました。20代では教職に就き続けるのは難しいと感じている人は少なくないようです。教員不足が続くなか、実際に教職に就いた人が仕事を続けていけるような環境を作る取り組みが、今後一層重要になっていくのではないのでしょうか。

学校種別にみると、特別支援学校の教員では、「現状維持」が70.4%となりました。

◆今後、どのようなキャリアを望むか（単一回答形式）



◆教員の働き方・現場への意識について

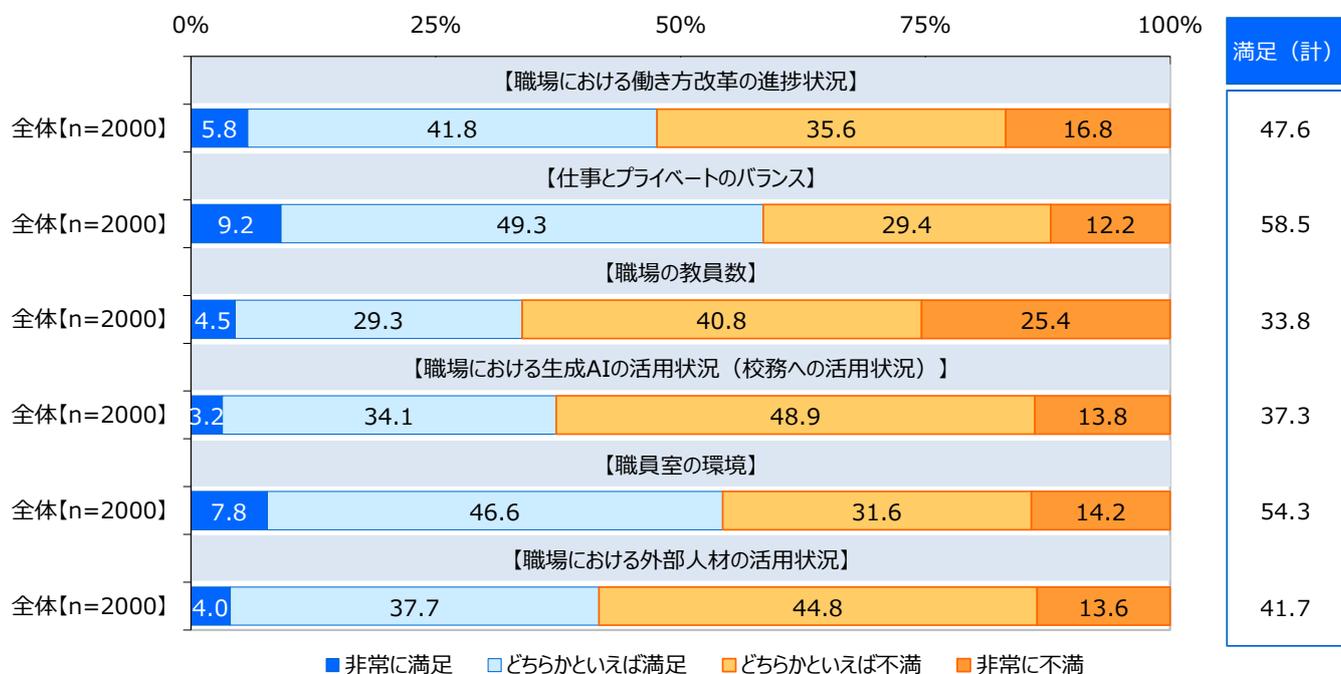
・教員の働き方や教職の現場に対する満足度 「学校における働き方改革の進捗状況」では 48%、

「仕事とプライベートのバランス」では 59%、「職場の教員数」では 34%、

「職場における生成 AI の活用状況」では 37%、「職員室の環境」では 54%、「外部人材の活用状況」では 42%

全回答者（2,000名）に、教員の働き方・現場への満足度を聞いたところ、【職場における働き方改革の進捗状況】については、「非常に満足」は 5.8%、「どちらかといえば満足」は 41.8%となり、合計した『満足（計）』の割合は、47.6%と約半数が満足していることがわかりました。また、【仕事とプライベートのバランス】では、『満足（計）』の割合が 58.5%でした。ワークライフバランスは実現できていると感じている教員も少なくないようです。一方、【職場の教員数】では、『満足（計）』の割合は 33.8%、【職場における生成 AI の活用状況（校務への活用状況）】では 37.3%と、4割を下回りました。【職員室の環境】では『満足（計）』の割合は 54.3%、【職場における外部人材の活用状況】では 41.7%となりました。

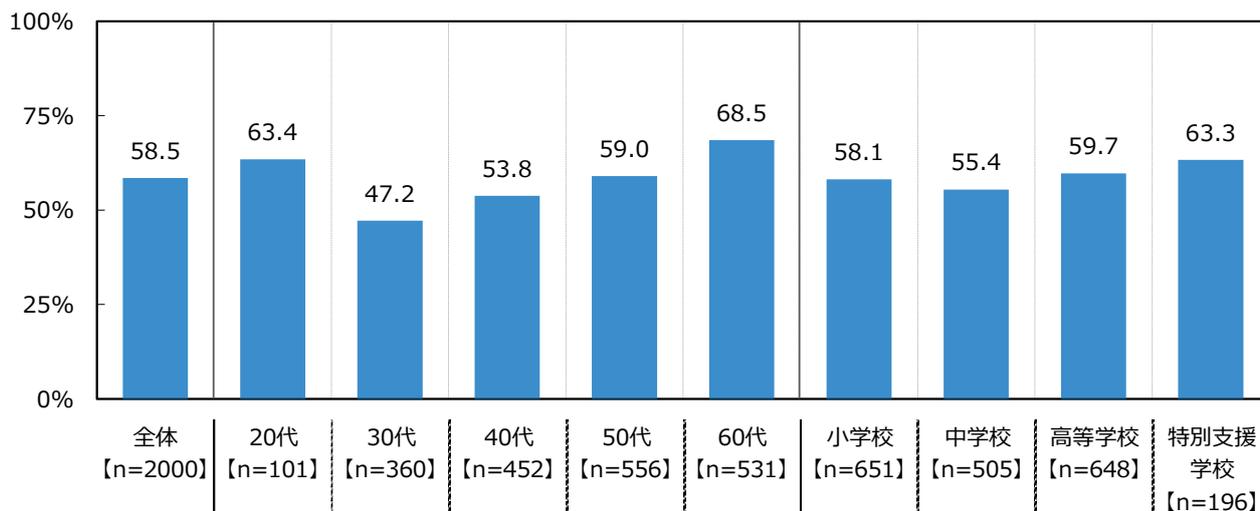
◆教員の働き方や、教職の現場について、満足しているか（各単一回答形式）



【仕事とプライベートのバランス】について年代別にみると、満足している人の割合は 20 代（63.4%）、60 代（68.5%）では 6 割を超えました。一方で、30 代（47.2%）では半数を下回る結果となりました。30 代では、私生活のライフステージの変化や仕事での業務量の増加などのタイミングが重なって、公私ともに時間がないと感じている人が多いのではないのでしょうか。

勤務先の学校種別でみると、満足している人の割合は、すべての校種で 5 割以上となりました。また、特別支援学校の教員では 63.3%となりました。

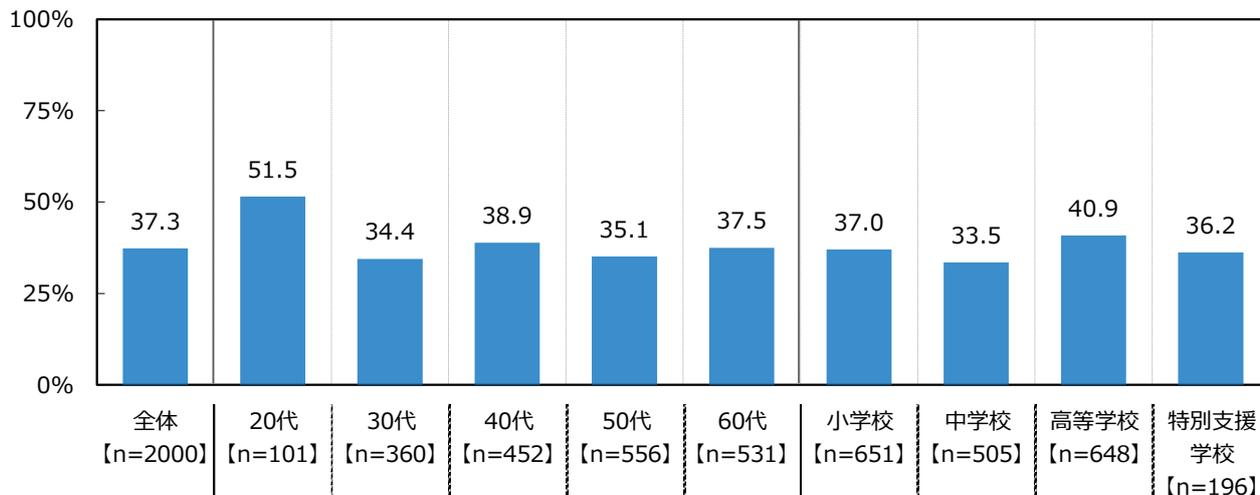
◆【仕事とプライベートのバランス】について満足の人（「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計）の割合（単一回答形式）



【職場における生成 AI の活用状況（校務への活用状況）】について年代別にみると、20 代では満足している人の割合は 51.5%と半数以上が満足と感じていることがわかりました。デジタルネイティブ世代の 20 代では生成 AI の利用に抵抗感がない人が多く、活用に馴染み深い人が多いことが考えられます。

勤務先の学校種別でみると、満足している人の割合は、高等学校の教員では 40.9%でした。

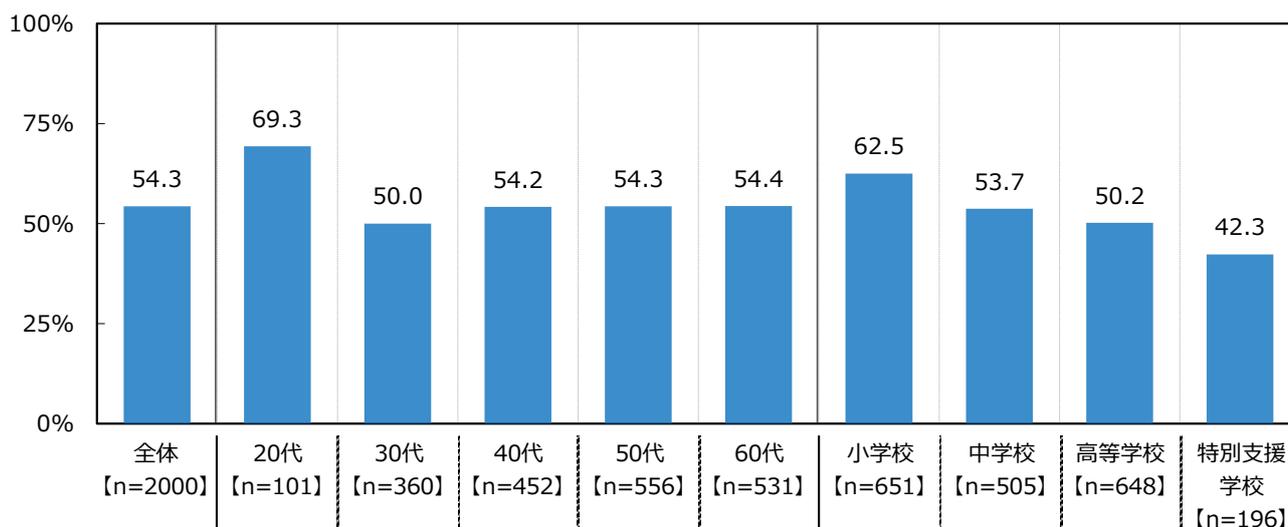
◆【職場における生成AIの活用状況（校務への活用状況）】について満足の人（「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計）の割合（単一回答形式）



【職員室の環境】について年代別にみると、満足している人の割合は20代では69.3%と7割が満足している結果となりました。20代の教員にとっては、学校の職員室は風通しがよい環境となっており、先輩教員たちとも良好な関係を築くことができてきている人が多いのかもしれませんが。

勤務先の学校種別でみると、小学校の教員では62.5%が満足と回答しました。一方で、特別支援学校の教員では満足している人の割合は42.3%と、半数を下回りました。

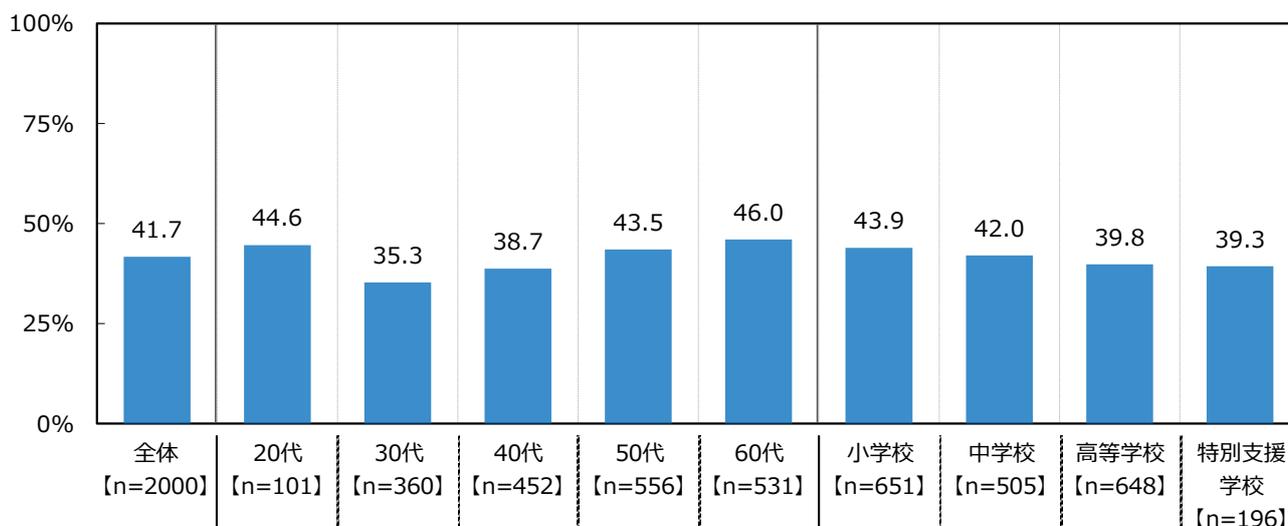
◆【職員室の環境】について満足の人（「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計）の割合（単一回答形式）



【職場における外部人材の活用状況】について年代別にみると、満足している人の割合が最も高くなったのは、60代（46.0%）、一方で、最も低くなったのは30代（35.3%）となり、60代と比べて10ポイント以上低くなりました。

勤務先の学校種別でみると、満足している人の割合は高等学校の教員（39.8%）と特別支援学校の教員（39.3%）では、4割に満たない結果となりました。

◆【職場における外部人材の活用状況】について満足の人（「非常に満足」「どちらかといえば満足」の合計）の割合（単一回答形式）



◆業務における苦勞について

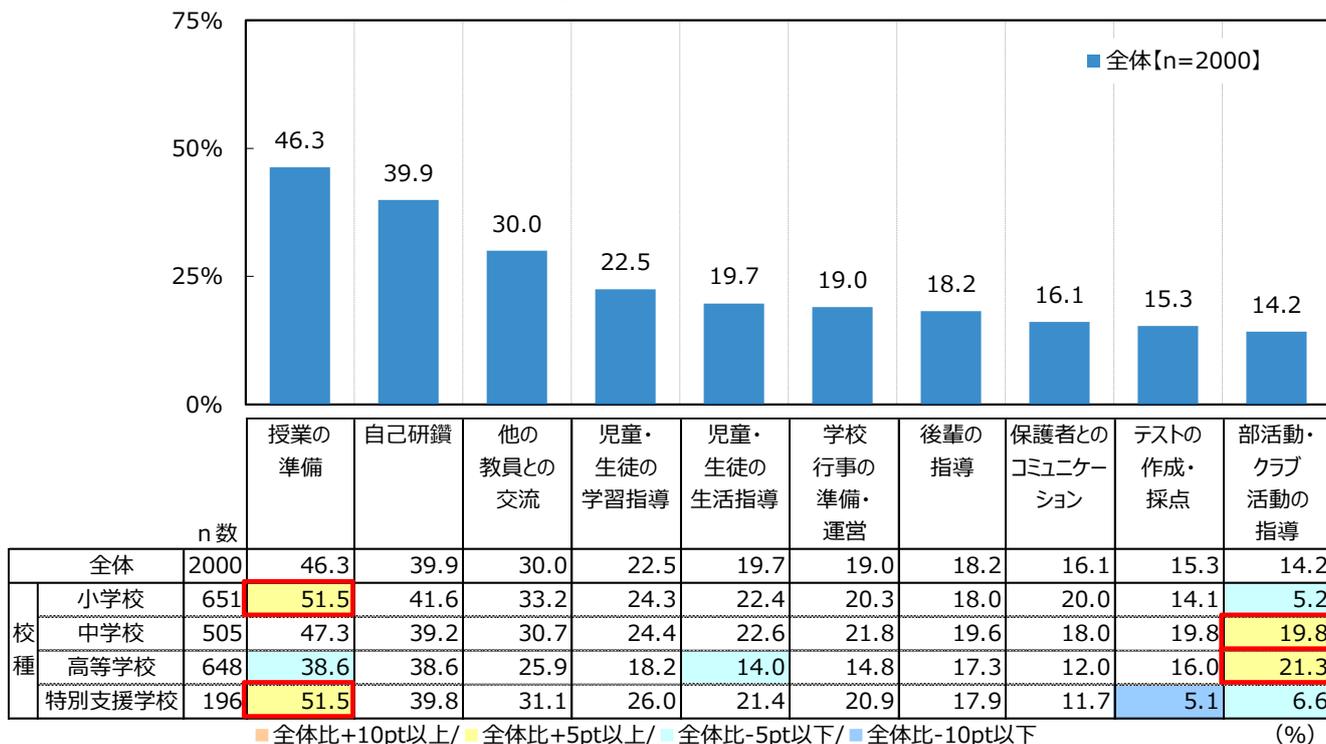
◆十分に時間を割けていないと感じる業務 小学校の教員と特別支援学校の教員では「授業の準備」が半数以上

業務における苦勞について聞きました。

全回答者（2,000名）に、十分に時間を割けていないと感じる業務を聞いたところ、「授業の準備」（46.3%）が最も高くなりました。次いで、「自己研鑽」（39.9%）、「他の教員との交流」（30.0%）、「児童・生徒の学習指導」（22.5%）、「児童・生徒の生活指導」（19.7%）の順で高くなりました。

勤務先の学校種別でみると、小学校の教員、特別支援学校の教員では、「授業の準備」（いずれも51.5%）が半数を超えており、多くの方が授業準備の時間が足りないと感じていることがわかりました。また、中学校の教員、高等学校の教員では「部活動・クラブ活動の指導」（中学校19.8%、高等学校21.3%）が全体と比べて5ポイント以上高くなりました。

◆十分に時間を割けていないと感じる業務（複数回答形式） ※上位10位までを表示

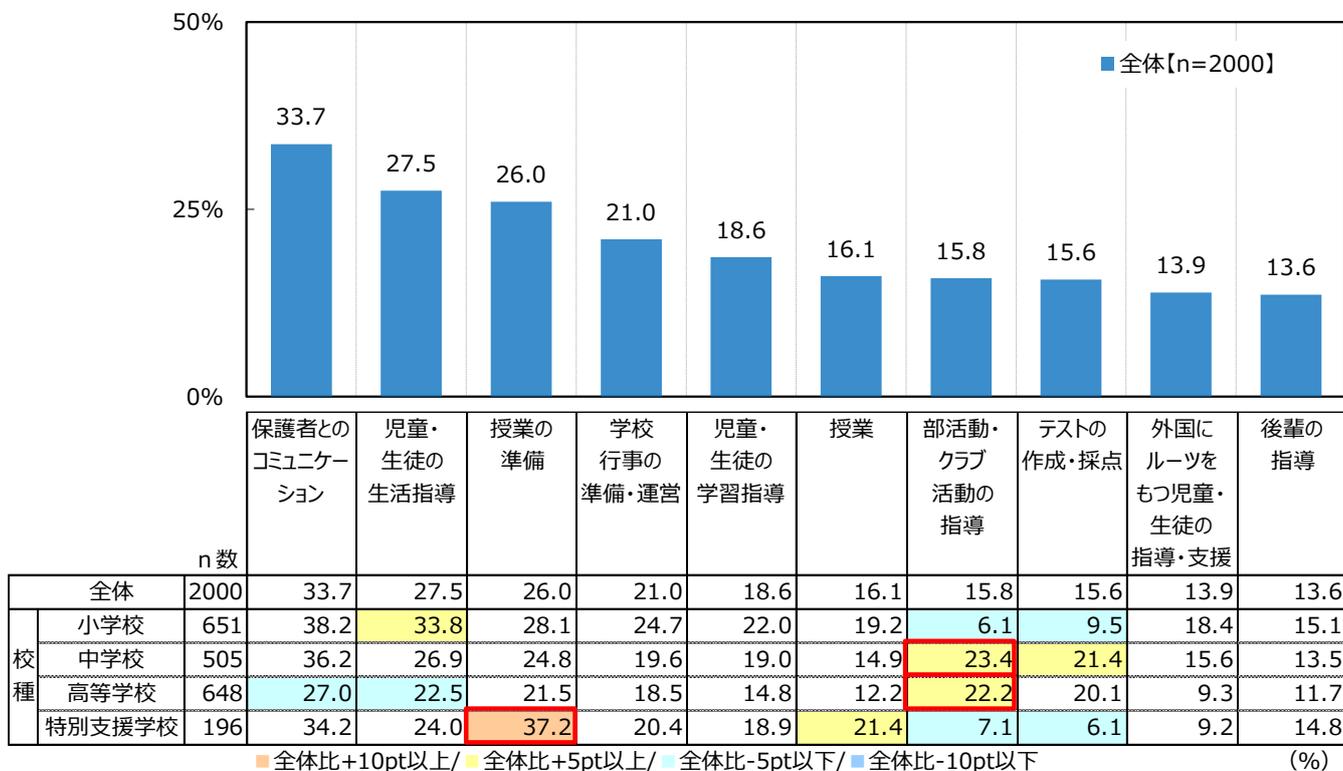


・教員の業務において苦勞していること「保護者とのコミュニケーション」は3人に1人

全回答者（2,000名）に、教員の仕事で苦勞していることを聞いたところ、1位は「保護者とのコミュニケーション」（33.7%）となりました。次いで2位は「児童・生徒の生活指導」（27.5%）、3位は「授業の準備」（26.0%）、4位は「学校行事の準備・運営」（21.0%）、5位は「児童・生徒の学習指導」（18.6%）となりました。また、「外国にルーツをもつ児童・生徒の指導・支援」（13.9%）もTOP10に挙がりました。

勤務先の学校種別で見ると、特別支援学校の教員では「授業の準備」（37.2%）が最も高くなりました。また、中学校の教員、高等学校の教員では「部活動・クラブ活動の指導」（中学校 23.4%、高等学校 22.2%）が2割を上回りました。

◆教員の仕事で苦勞していること（複数回答形式） ※上位10位までを表示



・「仕事の悩みを相談する相手がいる」77% 女性では87%、相談する相手 1位は「同世代の教員」

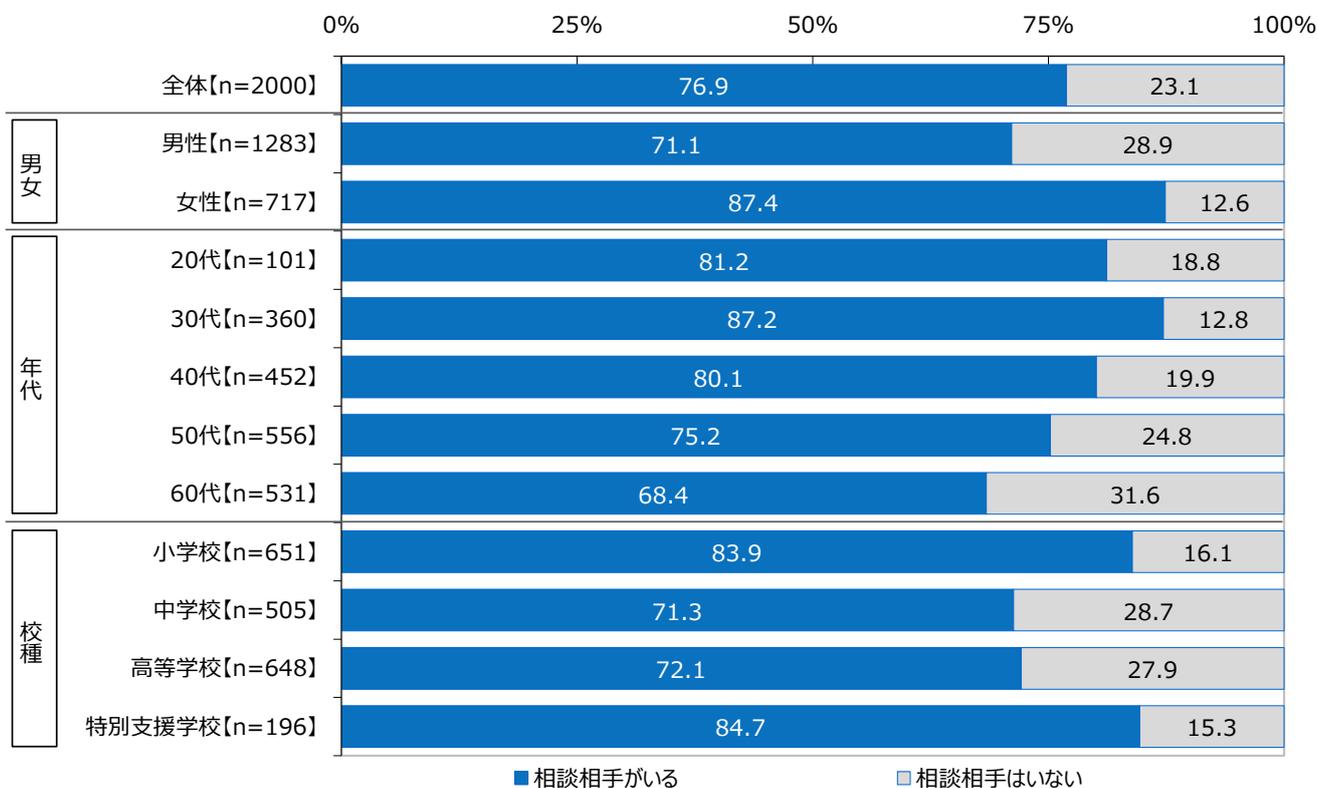
全回答者（2,000名）に、仕事の悩みを相談している相手がいるか聞いたところ、いる人の割合は76.9%でした。

男女別にみると、相談している相手がいる人の割合は、女性では87.4%でした。女性教員では大多数が仕事に関する悩みを相談できているようです。

年代別にみると、相談している相手がいる人の割合は30代（87.2%）で最も高くなり、30代以降では、年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられました。

勤務先の学校種別でみると、小学校の教員では83.9%、特別支援学校の教員では84.7%となりました。

◆仕事の悩みを相談している相手がいるか



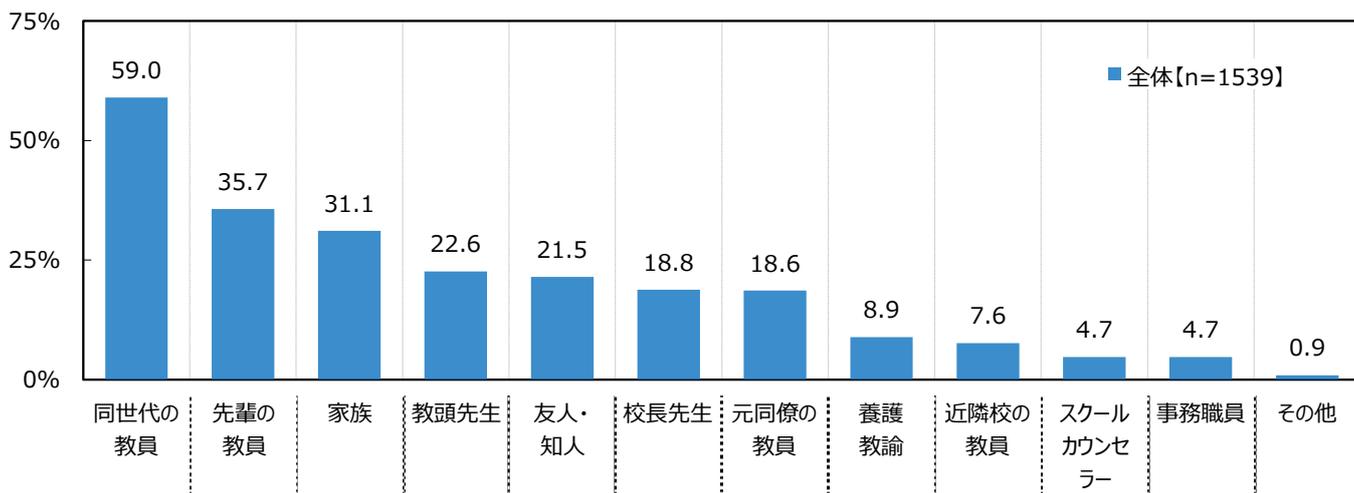
仕事の悩みを相談する相手がいる人（1,539名）に、仕事の悩みを相談している相手を聞いたところ、「同世代の教員」（59.0%）が最も高くなりました。同じ年代の教員同士ではお互いの悩みに共感しあえると考えられる人が多いのではないのでしょうか。次いで「先輩の教員」（35.7%）、「家族」（31.1%）、「教頭先生」（22.6%）、「友人・知人」（21.5%）となりました。

男女別にみると、女性では、「先輩の教員」（男性 31.5%、女性 41.9%）と「友人・知人」（男性 15.5%、女性 30.3%）が男性と比べて10ポイント以上高くなりました。

年代別にみると、20代では「養護教諭」（15.9%）が5位に挙がりました。

勤務先の学校種別でみると、「校長先生」（小学校 24.9%、中学校 25.3%、高等学校 10.1%、特別支援学校 9.0%）は、小学校の教員と中学校の教員では25%前後となったのに対して、高等学校の教員と特別支援学校の教員では10%前後となりました。

◆仕事の悩みを相談している相手（複数回答形式） 対象：仕事の悩みを相談する相手がいる人



◆仕事の悩みを相談している相手（複数回答形式） 対象：仕事の悩みを相談する相手がいる人

	n数	同世代の教員	先輩の教員	家族	教頭先生	友人・知人	校長先生	元同僚の教員	養護教諭	近隣校の教員	スクールカウンセラー	事務職員	その他	
全体	1539	59.0	35.7	31.1	22.6	21.5	18.8	18.6	8.9	7.6	4.7	4.7	0.9	
男女	男性	912	57.1	31.5	28.7	25.0	15.5	20.9	6.7	7.9	3.7	3.9	0.8	
	女性	627	61.7	41.9	34.4	19.1	30.3	15.6	12.1	7.2	6.1	5.7	1.1	
年代	20代	82	52.4	45.1	36.6	15.9	37.8	7.3	12.2	15.9	9.8	3.7	11.0	-
	30代	314	58.0	54.5	38.2	17.5	29.0	13.7	20.7	12.1	8.6	6.4	4.1	0.6
	40代	362	60.8	43.6	30.1	27.1	20.7	24.3	19.3	8.6	5.8	5.0	5.5	1.1
	50代	418	56.0	29.7	29.4	26.3	17.2	21.3	18.2	9.3	11.0	4.5	5.3	1.2
	60代	363	63.1	16.5	26.4	19.8	17.1	17.4	18.2	4.4	4.1	3.3	2.2	0.8
校種	小学校	546	58.4	35.2	33.2	24.2	24.4	24.9	19.2	11.5	10.8	5.9	7.5	0.9
	中学校	360	56.9	39.2	29.4	27.5	21.4	25.3	19.4	10.8	5.6	6.1	6.4	0.8
	高等学校	467	61.7	32.8	27.4	21.0	18.0	10.1	16.3	4.5	5.8	3.0	0.9	0.6
	特別支援学校	166	57.8	38.6	38.0	11.4	22.3	9.0	21.7	8.4	6.6	2.4	2.4	1.8

■全体比+10pt以上/ ■全体比+5pt以上/ ■全体比-5pt以下/ ■全体比-10pt以下

(%)

◆スクールカウンセラー・スクールロイヤーについて

・スクールカウンセラー、スクールロイヤーの在籍率「スクールカウンセラー」は 80%、「スクールロイヤー」は 14%

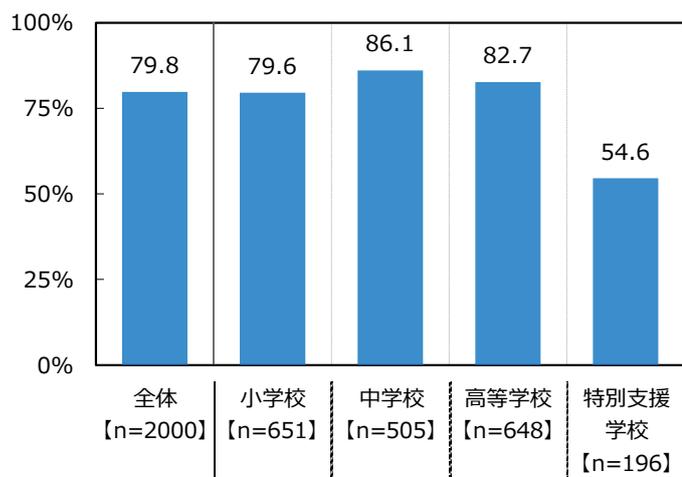
・スクールカウンセラーが自身の学校にいない人の 65%が「スクールカウンセラーが必要だと思ったことがある」と回答、
スクールロイヤーが自身の学校にいない人では 64%がスクールロイヤーの必要性を実感した経験あり

近年、臨床心理に関する専門知識を活かし、児童・生徒、保護者、教職員に対して相談・支援を行うスクールカウンセラーだけでなく、子ども同士のトラブル、いじめ、虐待、保護者からの過剰な要求、事故など、学校で発生するさまざまな問題に対し法的な側面から助言を行うスクールロイヤーといった外部人材の教育現場への導入が進められています。

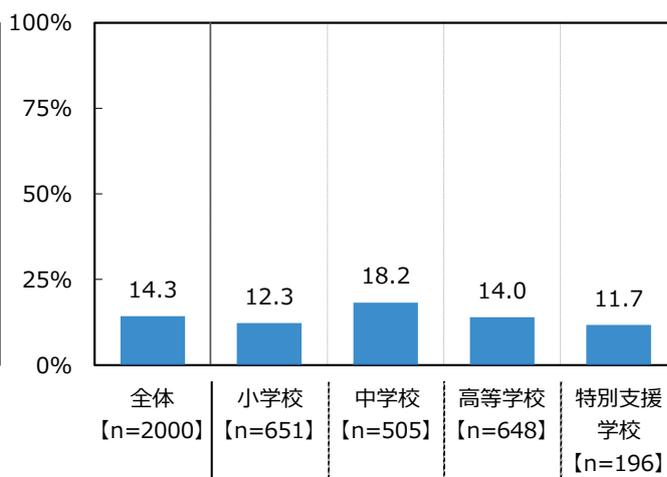
全回答者（2,000 名）に、職場にスクールカウンセラーやスクールロイヤーがいるか聞いたところ、【スクールカウンセラー】では「いる」の割合は 79.8%、【スクールロイヤー】では 14.3%でした。スクールカウンセラーの配置が一般的になっていくなか、スクールロイヤーの配置については進んでいない学校が多いようです。

勤務先の学校種別でみると、【スクールカウンセラー】は、中学校の教員では 86.1%となりました。一方で、特別支援学校の教員では 54.6%と、全体と比較して 20 ポイント以上低くなりました。また、【スクールロイヤー】は中学校の教員では 18.2%となりました。

◆職場にスクールカウンセラーがいる人の割合（単一回答形式）



◆職場にスクールロイヤーがいる人の割合（単一回答形式）



職場にスクールカウンセラーがいない人（404名）に、スクールカウンセラーが必要だと思ったことがあるか聞いたところ、「必要だと思ったことがある」は65.3%でした。

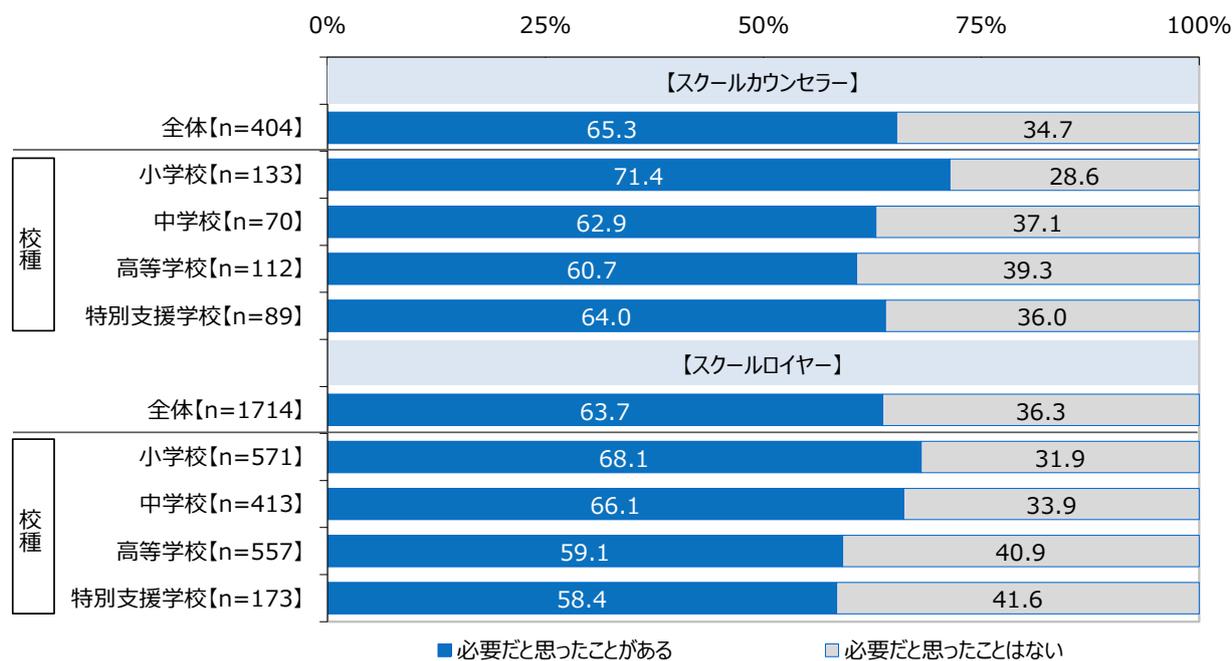
勤務先の学校種別でみると、「必要だと思ったことがある」と回答した人の割合は、小学校の教員では71.4%でした。

また、職場にスクールロイヤーがいない人（1,714名）に、スクールロイヤーが必要だと思ったことがあるか聞いたところ、「必要だと思ったことがある」は63.7%でした。

勤務先の学校種別でみると、「必要だと思ったことがある」と回答した人の割合は、小学校の教員では68.1%、中学校の教員では66.1%と、7割近くが必要性を感じていることがわかりました。

◆【スクールカウンセラー】、【スクールロイヤー】を必要だと思ったことがあるか（各単一回答形式）

対象：スクールカウンセラー、スクールロイヤーが学校にいない人



◆子どもたちからもらうコトバについて

◆児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ「ありがとう」がダントツ

2位「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」3位「勉強が好きになった、面白く・楽しくなった」

学校生活で子どもたちからもらうコトバについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバを聞いたところ、「ありがとう」（526名）が最も多くなりました。次いで、2位「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」（228名）、3位「勉強が好きになった、面白く・楽しくなった」（125名）、4位「先生のおかげです」（113名）、5位「できた、わかった」（111名）となりました。自身への感謝の言葉や児童・生徒の成長を感じられるコトバにうれしさを感じた人が多いようです。

男女別にみると、男女とも1位は「ありがとう」（男性368名、女性158名）、2位は「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」（男性138名、女性90名）となり、男性では3位「先生のおかげです」（75名）、女性の3位は「勉強が好きになった、面白く・楽しくなった」（55名）でした。

過去の調査結果と比較すると、初回の2022年調査以来、4年連続で「ありがとう」（2022年474名、2023年503名、2024年556名、2025年526名）が1位となっており、不動の人気のコトバとなっていることがわかりました。

最もうれしかったコトバをもらったときの状況・エピソードをみると、男女ともに1位の「ありがとう」では「問題が解けない生徒に根気強く教えた後に声をかけられた」、2位の「先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい」では「いろいろあったけれど、最後に言われて今までの苦勞が吹き飛んだ」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もうれしかったコトバ（自由回答形式） ※上位5位までを表示

	全体【n=2000】	名
1位	ありがとう	526
2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい	228
3位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった	125
4位	先生のおかげです	113
5位	できた、わかった	111

男性【n=1283】		名	状況・エピソード（抜粋）
1位	ありがとう	368	物を配るときなど、何気ないことをしたとき
2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい	138	いろいろあったけれど、最後に言われて今までの苦勞が吹き飛んだ
3位	先生のおかげです	75	苦手だったことやできなかったことができるようになったとき
4位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった	70	授業を楽しめたと感じてくれたから満足
5位	できた、わかった	66	授業中に生徒が答えを導き出した瞬間に呟いた一言
女性【n=717】		名	状況・エピソード（抜粋）
1位	ありがとう	158	問題が解けない生徒に根気強く教えた後に声をかけられた
2位	先生が担任・担当でよかった、担任・担当になってほしい	90	私が教えると、勉強がよくわかるという手紙をもらった
3位	勉強が好きになった、面白く・楽しくなった	55	授業が終わったときに独り言のように言った
4位	できた、わかった	45	昨日までできなかった算数の問題が理解できて、わかった！と言ってもらえたとき
5位	好き・大好き、最高	42	優しいから大好きと言ってくれた

2022年調査【n=2000】		名	2023年調査【n=2000】		名	2024年調査【n=2000】		名
1位	ありがとう	474	1位	ありがとう	503	1位	ありがとう	556
2位	授業がわかりやすかった	139	2位	先生が担任・担当でよかった	137	2位	先生が担任・担当でよかった	148
3位	先生が担任でよかった	136	3位	授業がわかりやすかった	109	3位	授業がわかりやすかった	84
4位	好き・大好き	75	4位	好き・大好き	96	4位	授業が楽しかった	73
	授業が楽しかった	75	5位	授業が楽しかった	75	5位	先生のおかげです	65

・児童・生徒から言われて最もへこんだコトバ 1位「授業がわからない・わかりにくい、下手」

児童・生徒から言われて最もへこんだ（落ち込んだ）コトバを聞いたところ、1位は「授業がわからない・わかりにくい、下手」（121名）でした。授業準備や工夫などを行っても、内容がうまく伝わらないという経験をした人も多いのではないのでしょうか。次いで、2位「好きじゃない、嫌い」（74名）、3位「面白くない・つまらない」（69名）、4位「他の先生のほうがいい」（47名）、5位「うるさい、うとうしい」（45名）となりました。

男女別にみると、男性では1位は「授業がわからない・わかりにくい、下手」（91名）で、2位は「面白くない・つまらない」（46名）、3位は「好きじゃない、嫌い」（41名）でした。女性では1位は「好きじゃない、嫌い」（33名）、2位は「授業がわからない・わかりにくい、下手」（30名）、3位は「他の先生のほうがいい」（27名）となりました。

過去の調査結果と比較すると、初回の2024年調査では1位は「説明がわかりにくい・わからない」（98名）となっており、教えた内容がわかりづらいといったコトバに落ち込むことが多いということがわかりました。

最もへこんだコトバを言われたときの状況・エピソードをみると、1位の「授業がわからない・わかりにくい、下手」では「難しいことを簡単に言いかえることができなかった」や「授業を迷いながら進めたらしっかり伝わらなかった」といった回答がありました。

◆児童・生徒から言われて最もへこんだ（落ち込んだ）コトバ（自由回答形式）※上位5位までを表示

全体【n=2000】			2024年調査【n=2000】		
順位	コトバ	名	順位	コトバ	名
1位	授業がわからない・わかりにくい、下手	121	1位	説明がわかりにくい・わからない	98
2位	好きじゃない、嫌い	74	2位	面白くない・つまらない	59
3位	面白くない・つまらない	69	3位	嫌い	54
4位	他の先生のほうがいい	47	4位	先生はわかっていない・わからない	45
5位	うるさい、うとうしい	45	5位	他の先生のほうがよかった	43

男性【n=1283】		名	状況・エピソード（抜粋）	
1位	授業がわからない・わかりにくい、下手	91	難しいことを簡単に言いかえることができなかった	
2位	面白くない・つまらない	46	授業の展開がうまくいかず思い通りの結論に結び付かなかったとき	
3位	好きじゃない、嫌い	41	生徒の思いを汲んでやれなかったとき	
4位	うるさい、うとうしい	29	少し踏み込んだ内容の話をしたとき	
5位	他の先生のほうがいい	20	他のクラスよりも厳しいことを伝えたとき	

女性【n=717】		名	状況・エピソード（抜粋）	
1位	好きじゃない、嫌い	33	担任しているクラスで、自分だけ怒られたと感じた生徒から言われた	
2位	授業がわからない・わかりにくい、下手	30	授業を迷いながら進めたらしっかり伝わらなかった	
3位	他の先生のほうがいい	27	クラス担任が発表されたとき	
4位	面白くない・つまらない	23	みんなを喜ばせようと企画した内容に対して	
5位	先生はわかっていない・わからない	19	わかっているつもりでいたけど、何もわかっていなかったことに気がついた	

◆子どもたちに身につけてほしいことについて

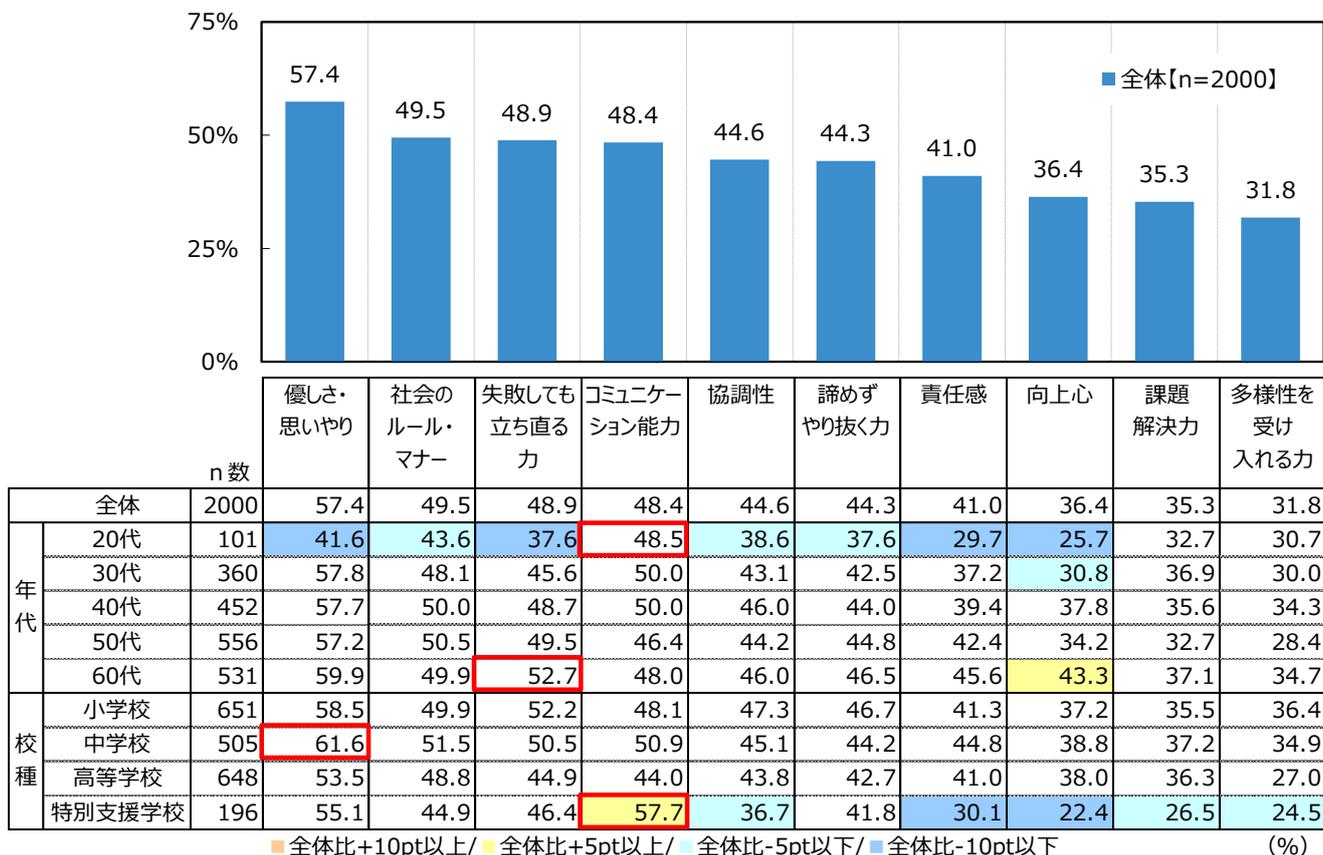
◆児童・生徒に身につけてほしいこと 1位「優しさ・思いやり」、20代では「コミュニケーション能力」が1位

全回答者（2,000名）に、児童・生徒に身につけてほしいと思うことを聞いたところ、「優しさ・思いやり」（57.4%）に最も多く回答が集まり、半数以上となりました。以降、「社会のルール・マナー」（49.5%）、「失敗しても立ち直る力」（48.9%）、「コミュニケーション能力」（48.4%）、「協調性」（44.6%）が続きました。

年代別にみると、20代では「コミュニケーション能力」（48.5%）が1位でした。また、60代では「失敗しても立ち直る力」（52.7%）が2位でした。

勤務先の学校種別でみると、中学校の教員では「優しさ・思いやり」が61.6%となりました。また、特別支援学校の教員では「コミュニケーション能力」（57.7%）が1位でした。

◆児童・生徒に身につけてほしいと思うこと（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆子どもに薦めたい映画・YouTube チャンネルについて

・児童・生徒に最も薦めたい映画

1位「火垂るの墓」2位「ショーシャンクの空に」3位「バック・トゥ・ザ・フューチャー」「となりのトトロ」

30代では「ハリー・ポッター」が1位

児童・生徒に最も薦めたい映画のタイトルを聞いたところ、1位「火垂るの墓」（42名）、2位「ショーシャンクの空に」（31名）、3位「『バック・トゥ・ザ・フューチャー』シリーズ」、「となりのトトロ」（いずれも27名）、5位「サウンド・オブ・ミュージック」（26名）となりました。

TOP3 となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1位の「火垂るの墓」では「戦争の悲惨さ、命の儚さ、大切さを知ってほしい」、2位の「ショーシャンクの空に」では「誠実に生きていればいつか報われるときが来ると思えるから」、3位の「『バック・トゥ・ザ・フューチャー』シリーズ」では「未来は変えられることを教えてくれる」、「となりのトトロ」では「優しさや夢をもち続けてほしい」といった回答がありました。

年代別にみると、20代・40代・50代・60代では「火垂るの墓」がTOP3に入りました。30代では「『ハリー・ポッター』シリーズ」が1位となりました。

◆児童・生徒に最も薦めたい映画のタイトル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）

※全体の結果は上位10位、年代別の結果は上位3位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	『火垂るの墓』	42	戦争の悲惨さ、命の儚さ、大切さを知ってほしい
2位	『ショーシャンクの空に』	31	誠実に生きていればいつか報われるときが来ると思えるから
3位	『バック・トゥ・ザ・フューチャー』シリーズ	27	未来は変えられることを教えてくれる
	『となりのトトロ』	27	優しさや夢をもち続けてほしい
5位	『サウンド・オブ・ミュージック』	26	世界史、家族愛、音楽など、いろいろな要素が含まれているヒューマンドラマだから
6位	『映画ドラえもん』シリーズ	25	仲間と協力して困難に立ち向かう勇気を学べる
7位	『ハリー・ポッター』シリーズ	19	友情、勇気を学べるから
8位	『スター・ウォーズ』シリーズ	16	宇宙に夢がある
	『E.T.』	16	感動を味わってほしい
10位	『名探偵コナン』シリーズ	13	全世代で楽しめる

	20代【n=101】	名		30代【n=360】	名
1位	『火垂るの墓』	2	1位	『ハリー・ポッター』シリーズ	9
	『映画ドラえもん』シリーズ	2	2位	『映画ドラえもん』シリーズ	8
	『ごくせん THE MOVIE』	2	3位	『となりのトトロ』	6

	40代【n=452】	名		50代【n=556】	名		60代【n=531】	名
1位	『火垂るの墓』	10	1位	『バック・トゥ・ザ・フューチャー』シリーズ	15	1位	『火垂るの墓』	14
	『ショーシャンクの空に』	10	2位	『火垂るの墓』	13	2位	『サウンド・オブ・ミュージック』	11
	『となりのトトロ』	10	3位	『ショーシャンクの空に』	11	3位	『スター・ウォーズ』シリーズ	9

・児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネル

1 位「HikakinTV」2 位「エガちゃんねる EGA-CHANNEL」

3 位「両学長リベラルアーツ大学」「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」

次に、児童・生徒に最も薦めたい YouTube チャンネルを聞いたところ、1 位は「HikakinTV」（11 名）となり、続けて 2 位「エガちゃんねる EGA-CHANNEL」（9 名）、3 位「両学長リベラルアーツ大学」「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」（いずれも 8 名）、5 位「Kevin's English Room / 掛山ケビ志郎」「予備校のノリで学ぶ『大学の数学・物理』」「QuizKnock」（いずれも 7 名）の順となりました。

TOP3 となった回答について、薦めたいと思う理由をみると、1 位の「HikakinTV」では「長く続ける人柄について学んでほしい」や「安心して見られるから」、2 位の「エガちゃんねる EGA-CHANNEL」では「一面的に人や物を見てはならない」や「話に深みがある」、3 位の「両学長リベラルアーツ大学」では「金融リテラシーを身につけてほしい」、「中田敦彦の YouTube 大学 - NAKATA UNIVERSITY」では「学校では教わらない知識が身につくから」といった回答がありました。

◆児童・生徒に最も薦めたいYouTubeチャンネル・薦めたいと思う理由（自由回答形式）※上位5位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）
1位	HikakinTV	11	長く続ける人柄について学んでほしい 安心して見られるから
2位	エガちゃんねる EGA-CHANNEL	9	一面的に人や物を見てはならない 話に深みがある
3位	両学長リベラルアーツ大学	8	金融リテラシーを身につけてほしい 金融教育が今からは必ず必要だから
	中田敦彦のYouTube大学 - NAKATA UNIVERSITY	8	学校では教わらない知識が身につくから 教養が深まるから
5位	Kevin's English Room / 掛山ケビ志郎	7	異文化を面白おかしく紹介してくれるから
	予備校のノリで学ぶ「大学の数学・物理」	7	とてもわかりやすくて良いから
	QuizKnock	7	楽しく知識を得られる

◆“教員あるある”について

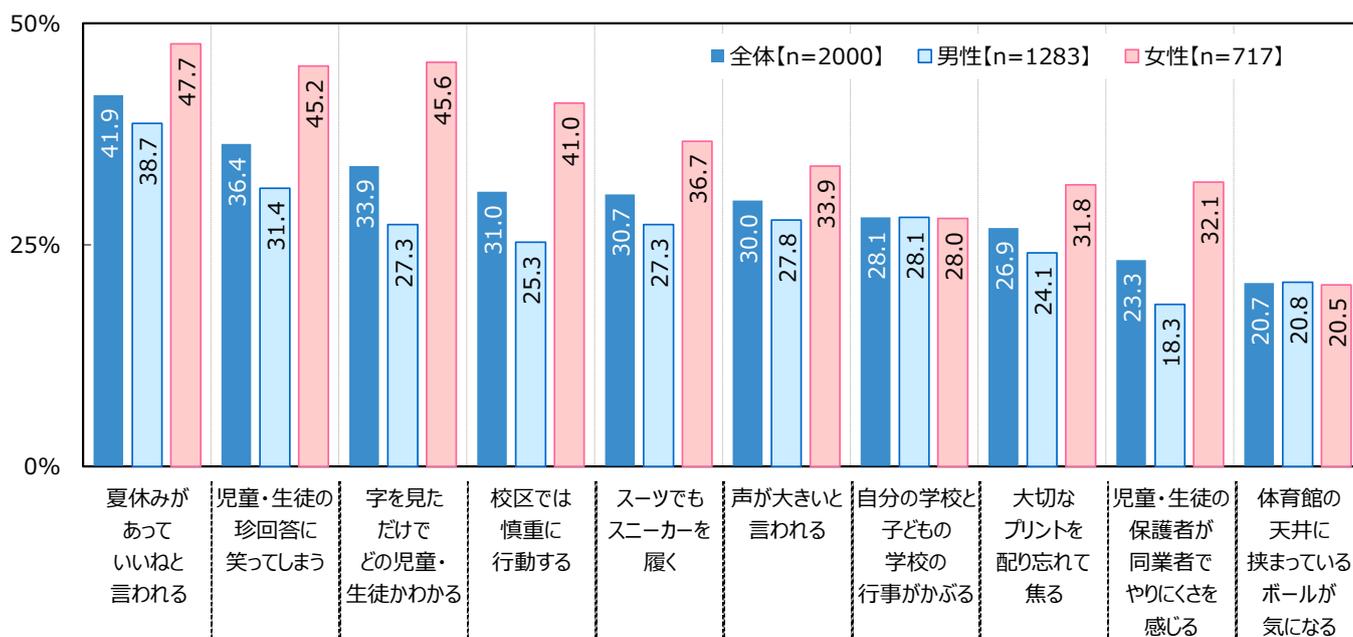
・“教員あるある”TOP3

「夏休みがあつていいねと言われる」「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」

全回答者（2,000名）に、教師をしていて経験したことがあるもの・行ったことがあるものを聞いたところ、「夏休みがあつていいねと言われる」（41.9%）が最も多くなりました。続いて、「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」（36.4%）、「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」（33.9%）、「校区では慎重に行動する」（31.0%）、「スーツでもスニーカーを履く」（30.7%）でした。また、「自分の学校と子どもの学校の行事がかぶる」（28.1%）といった、親の立場ならではの経験も“あるある”としてTOP10にランクインしました。

男女別にみると、女性では、「夏休みがあつていいねと言われる」（47.7%）、「児童・生徒の珍回答に笑ってしまう」（45.2%）、「字を見ただけでどの児童・生徒かわかる」（45.6%）、「校区では慎重に行動する」（41.0%）が4割を上回りました。

◆教師をしていて経験したことがあるもの・行ったことがあるもの（複数回答形式） ※上位10位までを表示



◆教科に対する意識・実感について

・子どもの頃に好きだった教科 1位 男性・女性ともに「算数・数学」

好きだった理由は？ 国語「たくさんの世界観がもてたから」、算数・数学「計算の仕組みや考え方が楽しい」、英語「国際社会の窓口と感じた」、理科「実験が好きだから」、社会「歴史が好きだった」、保健・体育「体を動かすのが気持ちいい」、音楽「楽器を演奏することや歌うことが好きだったため」など

教員は、教科に対してどのような意識・実感をもっているのでしょうか。

全回答者（2,000名）に、子どもの頃に好きだった教科を聞いたところ、男性・女性ともに、「算数・数学」（男性311名、女性130名）が1位となりました。以降、男性では2位「社会」（249名）、3位「保健・体育」（225名）、4位「理科」（120名）、5位「英語」（62名）の順となりました。また、女性では2位「保健・体育」（98名）、3位「国語」（97名）、4位「音楽」（83名）、5位「英語」（76名）と続きました。

◆子どもの頃に好きだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

男性【n=1283】			女性【n=717】		
		名			名
1位	算数・数学	311	1位	算数・数学	130
2位	社会	249	2位	保健・体育	98
3位	保健・体育	225	3位	国語	97
4位	理科	120	4位	音楽	83
5位	英語	62	5位	英語	76
6位	国語	51	6位	社会	48
7位	美術・図工	42	7位	美術・図工	45
8位	音楽	30	8位	理科	28
9位	技術・家庭	7	9位	技術・家庭	13
10位	書写・書道	3	10位	道徳	6

好きだった理由をみると、国語では「音読が好きで、物語を読んで想像することが好きだったから」や「文章を読むことが好きだから」、「たくさんの世界観がもてたから」、算数・数学では「パズルなどが好きで、同様に考えることが好きだった」や「解けた時の喜びがくせになった」、「計算の仕組みや考え方が楽しい」、英語では「英語を使ったコミュニケーションが楽しい」や「国際社会の窓口と感じた」や、「好きな歌や映画の世界につながったから」といった理由が挙げられました。

そのほか、理科では「実験が好きだから」や「身の回りの出来事に直結している」、「たくさんの発見があった」、社会では「歴史が好きだった」や「資料集や地図帳を見るのが好きだった」、「旅行好きだから」などの回答がみられました。

また、保健・体育では「体を動かすのが気持ちいい」や「たくさん遊べるから」、「運動神経が良かった」、音楽では「ピアノをやっていたので得意だったから」や「楽器を演奏することや歌うことが好きだったため」、「鑑賞の授業が面白かったから」といった回答がありました。

◆子どもの頃に好きだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語		算数・数学	
好きだった理由		好きだった理由	
平安時代の文学がとにかく好きだった 音読が好きで、物語を読んで想像することが好きだったから 文章を読むことが好きだから たくさんの世界観がもてたから		パズルなどが好きで、同様に考えることが好きだった 公式を覚えていると簡単に解けることがあったため 解けた時の喜びがくせになった 計算の仕組みや考え方が楽しい	
英語		理科	
好きだった理由		好きだった理由	
英語を使ったコミュニケーションが楽しい 国際社会の窓口と感じた 好きな歌や映画の世界につながったから 外国に魅力を感じていた		実験が好きだから 身の回りの出来事に直結している 起きる現象が面白かった たくさんの発見があった	
社会		保健・体育	
好きだった理由		好きだった理由	
歴史が好きだった 知らないことを知れるのが楽しかった 資料集や地図帳を見るのが好きだった 旅行好きだから		運動神経が良かった 体を動かすのが気持ちいい たくさん遊べるから リフレッシュ	
音楽			
好きだった理由			
ピアノをやっていたので得意だったから 楽器を演奏することや歌うことが好きだったため 鑑賞の授業が面白かったから みんなで声を合わせるのが好きだったから			

・子どもの頃に嫌いだった教科

男性では 1 位「国語」2 位「保健・体育」、女性では 1 位「保健・体育」2 位「算数・数学」

嫌いだった理由は？ 国語「答えが明確でないから」、算数・数学「どう役に立つかわからなかったから」、

理科「化学式など暗記することが苦手だった」、社会「興味をもてず、頭に入らなかった」、

保健体育「集団ゲームで、足を引っ張るので」、

美術・図工「絵を思うように描けなかった」、音楽「人前で歌のテストがある」など

子どもの頃に嫌いだった教科を聞いたところ、男性では 1 位「国語」（177 名）、2 位「保健・体育」（144 名）、3 位「算数・数学」（141 名）、4 位「音楽」（121 名）、5 位「美術・図工」（118 名）となりました。

女性では 1 位「保健・体育」（152 名）、2 位「算数・数学」（137 名）、3 位「社会」（78 名）、4 位「美術・図工」（65 名）、5 位「理科」（63 名）となりました。“子どもの頃に好きだった教科”で、男性・女性ともに 1 位に挙げられた「算数・数学」が TOP3 に入る結果となりました。また、「音楽」や「美術・図工」といった芸術系の教科も上位にランクインする結果となりました。

◆子どもの頃に嫌いだった教科（自由回答形式） ※上位10位までを表示

男性【n=1283】			女性【n=717】		
	名			名	
1位	国語	177	1位	保健・体育	152
2位	保健・体育	144	2位	算数・数学	137
3位	算数・数学	141	3位	社会	78
4位	音楽	121	4位	美術・図工	65
5位	美術・図工	118	5位	理科	63
6位	英語	114	6位	国語	34
7位	理科	69	7位	英語	26
8位	社会	61	8位	音楽	19
9位	技術・家庭	23	9位	技術・家庭	9
10位	書写・書道	5	10位	道徳	6

嫌いだった理由をみると、国語では「人の気持ちを考えるのが苦手だった」や「答えが明確でないから」、「何を学ぶ教科だったのかが、全くわからなかった」、算数・数学では「論理的思考が苦手だから」や「どう役に立つかわからなかったから」、「早く答えを出さなければいけない教科だと思っていたから」といった回答がありました。

また、理科では「化学式など暗記することが苦手だった」や「学んで生活にどういきるかわからなかったので」、「虫が苦手だった」、社会では「興味をもてず、頭に入らなかった」や「暗記するものが多すぎて辛く感じていたから」、「同じ苗字が多く、覚えられなかった」などの理由が挙げられました。

保健・体育では「集団ゲームで、足を引っ張るので」や「無理やりやらされたから」、「運動に苦手意識があって、周りから遅れをとることが多かったので」、美術・図工では「絵を思うように描けなかった」や「絵を描く、作品を作ることが苦手だったから」、「絵を人に笑われて自信をなくした」、音楽では「人前で歌のテストがある」や「音痴で音程がとれない」、「楽譜などわからないことだらけだから」などの回答がみられました。

◆子どもの頃に嫌いだった教科・理由（自由回答形式） ※回答を抜粋して表示

国語		算数・数学	
嫌いだった理由		嫌いだった理由	
人の気持ちを考えるのが苦手だった 答えがはっきりしてなくて嫌いだった 何を学ぶ教科だったのかが、全くわからなかった 答えが明確でないから		論理的思考が苦手だから どう役に立つかわからなかったから 早く答えを出さなければいけない教科だと思っていたから 退屈に感じたから	
理科		社会	
嫌いだった理由		嫌いだった理由	
化学式など暗記することが苦手だった 学んで生活にどういきるかわからなかったので 虫が苦手だった 実験結果をまとめることが苦手だったから		興味をもてず、頭に入らなかった 暗記するものが多すぎて辛く感じていたから 年号とか地理とか覚えても面白くない 同じ苗字が多く、覚えられなかった	
保健・体育		美術・図工	
嫌いだった理由		嫌いだった理由	
集団ゲームで、足を引っ張るので ルールにしばられ体を動かさないといけない 無理やりやらされたから 運動に苦手意識があって、周りから遅れをとることが多かったので		絵を思うように描けなかった 絵を描く、作品を作ることが苦手だったから 独創性がなかった 絵を人に笑われて自信をなくした	
音楽			
嫌いだった理由			
人前で歌のテストがある 音痴で音程がとれない 楽譜などわからないことだらけだから 人前で発表するのが苦手だったから			

・大人になって実は役立つということがわかった教科 男性 1 位「算数・数学」、女性 1 位「技術・家庭」
役立つシーン・役立つことがわかった場面は？ 国語「気持ちを表現するには語彙が必要」、
算数・数学「考え方の訓練をするのに有効とわかった」、英語「抵抗感がなく外国の方と接する」、
社会「身の回りの見え方が変わる」、技術・家庭「すべて実生活に結びついている」など

また、子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科を聞いたところ、男性では 1 位「算数・数学」（187 名）、2 位「社会」（161 名）、3 位「国語」（160 名）、4 位「英語」（105 名）、5 位「技術・家庭」（99 名）、女性では 1 位「技術・家庭」（127 名）、2 位「算数・数学」（107 名）、3 位「社会」（84 名）、4 位「国語」（66 名）、5 位「英語」（51 名）となりました。“子どもの頃に好きだった教科”と“子どもの頃に嫌いだった教科”で男性・女性ともに 9 位に挙げられた「技術・家庭」が男性では 5 位、女性では 1 位と、男性・女性ともに上位にランクインする結果となりました。大人になってその実用性を感じている人が多いようです。

◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科（自由回答形式）※上位10位までを表示

男性【n=1283】			女性【n=717】		
	名			名	
1位	算数・数学	187	1位	技術・家庭	127
2位	社会	161	2位	算数・数学	107
3位	国語	160	3位	社会	84
4位	英語	105	4位	国語	66
5位	技術・家庭	99	5位	英語	51
6位	理科	78	6位	理科	42
7位	保健・体育	22	7位	保健・体育	13
8位	音楽	15	8位	道徳	12
9位	美術・図工	13	9位	音楽	8
10位	道徳	12	10位	美術・図工	6

役立つシーン・役立つことがわかった場面をみると、国語では「コミュニケーションや、多様な考え方にであったときの心構え」や「漢字が読めないと社会生活が困難」、「気持ちを表現するには語彙が必要」、算数・数学では「いろんな考え方・視点で物事をとらえる力がつく」や「考え方の訓練をするのに有効とわかった」、「実生活でも計算で求められるものがあることに気づいた」、英語では「抵抗感がなく外国の方と接する」や「論文の解釈」、「職場に外国籍の職員がいるとき」などが挙げられました。

また、社会では「TV を見るのも出かけるのも、知識があると、より楽しめる」や「身の回りの見え方が変わる」、「旅行を含めて普通の会話で知識が必要だと実感する」、技術・家庭では「すべて実生活に結びついている」や「生活していくうえで必要」、「実際に生活してみると、家庭科で習った知識は大事だと実感する」といった回答がありました。

- ◆子どもの頃はわからなかったが大人になって実は役立つということがわかった教科・役立つシーンや役立つことがわかった場面
(自由回答形式) ※回答を抜粋して表示

国語		算数・数学	
役立つシーン・役立つことがわかった場面		役立つシーン・役立つことがわかった場面	
コミュニケーションや、多様な考え方にであったときの心構え 漢字が読めないと社会生活が困難 文章を論理的に記述するなど論述の際 気持ちを表現するには語彙が必要		いろんな考え方・視点で物事をとらえる力がつく 考え方の訓練をするのに有効とわかった 実生活でも計算で求められるものがあることに気づいた 日常でいろいろ計算が必要	
英語		社会	
役立つシーン・役立つことがわかった場面		役立つシーン・役立つことがわかった場面	
いろんな人たちと話せるし、旅行にも行ける 職場に外国籍の職員がいるとき 抵抗感がなく外国の方と接する 論文の解釈		TVを見るのも出かけるのも、知識があると、より楽しめる 物事を考える力がついた 身の回りの見え方が変わる 旅行を含めて普通の会話で知識が必要だと実感する	
技術・家庭			
役立つシーン・役立つことがわかった場面			
すべて実生活に結びついている 実際に生活してみると、家庭科で習った知識は大事だと実感する 生活していくうえで必要 家庭生活のあらゆる場面			

◆職業観・結婚観について

・子どもの頃に就きたかった職業 男性・女性ともに3年連続で「教員」が1位に

・生まれ変わったら就きたい職業 男性・女性ともに1位は「教員」

男性では2位「プロスポーツ選手」、女性では2位「公務員」

憧れの職業について質問しました。

全回答者（2,000名）に、子どもの頃に就きたかった職業を聞いたところ、男性・女性ともに1位は「教員」（男性33.7%、女性39.2%）となりました。男女ともに子どもの頃の夢を叶えた人が多いようです。以降、男性では2位「プロスポーツ選手」（20.0%）、女性では2位「保育士・幼稚園教諭」（14.2%）、3位は男女ともに「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（男性14.0%、女性12.8%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、男性のTOP4は「教員」「プロスポーツ選手」「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」「パイロット」と、2023年調査から3年連続で同様の順位となりました。また、女性ではTOP3が「教員」「保育士・幼稚園教諭」「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」となり、2023年調査以降3年連続で同順位でした。

◆子どもの頃に就きたかった職業（複数回答形式）

※2025年の結果は上位10位、2023年・2024年の結果は上位5位までを表示

2025年調査：男性[n=1283]			2025年調査：女性[n=717]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	33.7	1位	教員	39.2
2位	プロスポーツ選手	20.0	2位	保育士・幼稚園教諭	14.2
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	14.0	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.8
4位	パイロット	9.7	4位	キャビンアテンダント	8.5
5位	大学教授・研究者	8.0	5位	料理人・パティシエ	7.9
6位	医師	6.8	6位	看護師	7.7
7位	警察官・消防官・自衛官	5.5	7位	医師	7.1
8位	タレント・俳優	4.7	8位	歌手・ミュージシャン	6.3
9位	建築家・大工	4.4	9位	芸術家	6.1
10位	小説家	4.1	10位	小説家	5.9
				薬剤師	5.9

2024年調査：男性[n=1320]			2024年調査：女性[n=680]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	37.3	1位	教員	44.0
2位	プロスポーツ選手	18.6	2位	保育士・幼稚園教諭	16.2
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.2	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.6
4位	パイロット	9.7	4位	看護師	8.4
5位	大学教授・研究者	9.2	5位	料理人・パティシエ	7.8

2023年調査：男性[n=1000]			2023年調査：女性[n=1000]		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	36.0	1位	教員	42.5
2位	プロスポーツ選手	22.9	2位	保育士・幼稚園教諭	21.0
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	12.7
4位	パイロット	10.5	4位	料理人・パティシエ	11.5
5位	医師	10.1	5位	歌手・ミュージシャン	8.8

※2023年調査：『教員の意識に関する調査2023』（2023年7月12日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20230712.pdf

2024年調査：『教員の意識に関する調査2024』（2024年7月12日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20240712.pdf

生まれ変わったら就きたい職業を聞いたところ、男性・女性ともに1位は「教員」（男性16.1%、女性14.2%）となり、男性では2位「プロスポーツ選手」（12.3%）、3位「大学教授・研究者」（10.2%）、女性では2位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（10.5%）、3位「医師」（10.3%）でした。

過去の調査結果と比較すると、男性では「教員」が3年連続で1位（2023年14.7%、2024年18.0%、2025年16.1%）、女性では「教員」は2年連続で1位（2024年14.6%、2025年14.2%）でした。

◆生まれ変わったら就きたい職業（複数回答形式）

※2025年の結果は上位10位、2023年・2024年の結果は上位5位までを表示

2025年調査：男性【n=1283】			2025年調査：女性【n=717】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	16.1	1位	教員	14.2
2位	プロスポーツ選手	12.3	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.5
3位	大学教授・研究者	10.2	3位	医師	10.3
4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.1	4位	歌手・ミュージシャン	7.1
5位	医師	9.7		キャビンアテンダント	7.1
6位	パイロット	8.3	6位	薬剤師	7.0
7位	建築家・大工	5.3	7位	料理人・パティシエ	6.6
8位	歌手・ミュージシャン	5.2	8位	芸術家	5.6
9位	タレント・俳優	5.1	9位	大学教授・研究者	5.4
10位	芸術家	4.8		タレント・俳優	5.4

2024年調査：男性【n=1320】			2024年調査：女性【n=680】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	18.0	1位	教員	14.6
2位	大学教授・研究者	12.7	2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	8.8
3位	プロスポーツ選手	12.3	3位	医師	8.7
4位	医師	10.0		キャビンアテンダント	8.7
5位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	8.9	5位	料理人・パティシエ	7.5

2023年調査：男性【n=1000】			2023年調査：女性【n=1000】		
順位	職業	%	順位	職業	%
1位	教員	14.7	1位	医師	11.8
2位	プロスポーツ選手	14.6	2位	教員	11.6
3位	医師	11.5	3位	薬剤師	10.7
4位	大学教授・研究者	10.7	4位	歌手・ミュージシャン	10.3
5位	パイロット	9.7	5位	料理人・パティシエ	9.6

・どのような職業の人と結婚した？ 女性では昨年 2 位の「教員」が 1 位に

・どのような職業の人と結婚したい？ 未婚男性では「医師」が TOP5 入り、未婚女性では「教員」が 3 位に

結婚相手について質問しました。

まず、既婚者（男性 1,089 名、女性 504 名）に、どのような職業の人と結婚したか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（32.1%）、2 位「会社員」（27.2%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（10.3%）、4 位「保育士・幼稚園教諭」（5.9%）、5 位「看護師」（4.8%）、女性では 1 位「教員」（36.1%）、2 位「会社員」（31.3%）、3 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（13.1%）、4 位「警察官・消防官・自衛官」（2.8%）、5 位「建築家・大工」（2.4%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、女性では「教員」（2023 年 37.9%、2024 年 31.4%、2025 年 36.1%）は 2023 年、2024 年と 2 年連続で 2 位でしたが、2025 年調査で 1 位に上昇しました。

◆どのような職業の人と結婚したか（単一回答形式）

※2025年の結果は上位10位、2023年・2024年の結果は上位5位までを表示 対象：既婚者

2025年調査：男性[n=1089]			2025年調査：女性[n=504]		
		%			%
1位	教員	32.1	1位	教員	36.1
2位	会社員	27.2	2位	会社員	31.3
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	10.3	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.1
4位	保育士・幼稚園教諭	5.9	4位	警察官・消防官・自衛官	2.8
5位	看護師	4.8	5位	建築家・大工	2.4
6位	料理人・パティシエ	1.3	6位	医師	1.4
7位	芸術家	0.8	7位	大学教授・研究者	1.2
8位	プロスポーツ選手	0.7		小説家	1.2
9位	医師	0.6	9位	冒険家	0.8
	薬剤師	0.6	10位	看護師	0.6
	キャビンアテンダント	0.6		料理人・パティシエ	0.6
	デザイナー	0.6		弁護士	0.6
2024年調査：男性[n=1133]			2024年調査：女性[n=471]		
		%			%
1位	教員	31.8	1位	会社員	35.9
2位	会社員	24.4	2位	教員	31.4
3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.8	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	13.2
4位	保育士・幼稚園教諭	7.5	4位	警察官・消防官・自衛官	2.5
5位	看護師	5.0	5位	建築家・大工	2.1
2023年調査：男性[n=844]			2023年調査：女性[n=673]		
		%			%
1位	教員	35.5	1位	会社員	38.2
2位	会社員	25.9	2位	教員	37.9
3位	保育士・幼稚園教諭	9.0	3位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	9.4
4位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	6.5	4位	警察官・消防官・自衛官	3.1
5位	看護師	5.5	5位	建築家・大工	1.5

※2023 年調査：『教員の意識に関する調査 2023』（2023 年 7 月 12 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20230712.pdf

2024 年調査：『教員の意識に関する調査 2024』（2024 年 7 月 12 日発表）

https://www.gib-life.co.jp/st/about/is_pdf/20240712.pdf

次に、未婚者（男性 194 名、女性 213 名）に、どのような職業の人と結婚したいと思うか聞いたところ、男性では 1 位「教員」（28.4%）、2 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（26.3%）、3 位「保育士・幼稚園教諭」（21.6%）、4 位「看護師」（17.5%）、5 位「医師」（12.9%）、女性では 1 位「公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）」（32.4%）、2 位「会社員」（26.3%）、3 位「教員」（25.4%）、4 位「医師」（16.9%）、5 位「料理人・パティシエ」「警察官・消防官・自衛官」（いずれも 12.2%）となりました。

過去の調査結果と比較すると、男性では「保育士・幼稚園教諭」が 2 年連続 3 位（2024 年 20.3%、2025 年 21.6%）に挙がりました。また、2024 年調査では 7 位だった「医師」（2024 年 9.1%、2025 年 12.9%）は 5 位に上昇しました。女性では 2023 年、2024 年調査と 2 年連続 2 位だった「教員」（2023 年 30.3%、2024 年 26.3%、2025 年 25.4%）が 2025 年調査では 3 位となりました。

◆どのような職業の人と結婚したいと思うか（複数回答形式）

※2025年の結果は上位10位、2023年・2024年の結果は上位5位までを表示 対象：未婚者

2025年調査：男性【n=194】			2025年調査：女性【n=213】		
		%			%
1位	教員	28.4	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	32.4
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	26.3	2位	会社員	26.3
3位	保育士・幼稚園教諭	21.6	3位	教員	25.4
4位	看護師	17.5	4位	医師	16.9
5位	医師	12.9	5位	料理人・パティシエ	12.2
6位	料理人・パティシエ	12.4		警察官・消防官・自衛官	12.2
7位	会社員	11.9	7位	大学教授・研究者	9.4
8位	薬剤師	7.7	8位	薬剤師	8.9
9位	大学教授・研究者	6.2	9位	パイロット	8.0
	キャビンアテンダント	6.2	10位	建築家・大工	7.5

2024年調査：男性【n=187】			2024年調査：女性【n=209】		
		%			%
1位	教員	29.9	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	39.7
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	25.7	2位	教員	26.3
3位	保育士・幼稚園教諭	20.3	3位	会社員	24.9
4位	会社員	17.6	4位	警察官・消防官・自衛官	16.7
5位	看護師	17.1	5位	医師	15.3

2023年調査：男性【n=156】			2023年調査：女性【n=327】		
		%			%
1位	教員	34.6	1位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	36.4
2位	公務員（教員・警察官・消防官・自衛官除く）	26.3	2位	教員	30.3
3位	看護師	21.8	3位	会社員	26.6
4位	保育士・幼稚園教諭	20.5	4位	警察官・消防官・自衛官	18.3
5位	薬剤師	14.7	5位	医師	17.7
	料理人・パティシエ	14.7			

◆教員・学校×有名人・ドラマ

・教師として職場に入ってきてほしい有名人 男性回答・女性回答ともに1位「大谷翔平さん」

“教員”のイメージに合う有名人について質問しました。

全回答者（2,000名）に、教師として職場に入ってきてほしい有名人を聞いたところ、男性回答・女性回答ともに「大谷翔平さん」が1位となりました。理由として、「ストイックで真面目で、生徒に多大な良い影響を与えてくれそうだから」、「常に向上心をもって目標を達成できる努力家なので、言葉に説得力があるから」、「努力することの大切さを上手に子どもたちに伝えることができそうだから」といった回答が挙げられました。努力家でストイックなイメージから大谷翔平さんに生徒のロールモデルとなってほしいと感じている人が多いようです。以降、男性では2位「イチロー」、3位「武田鉄矢さん」、4位「明石家さんまさん」、5位「阿部寛さん」、女性では2位「天海祐希さん」、3位「明石家さんまさん」、4位「大泉洋さん」、5位「武田鉄矢さん」となりました。

◆教師として職場に入ってきてほしい有名人（自由回答形式） ※上位10位までを表示

男性[n=1283]			女性[n=717]		
	名			名	
1位	大谷翔平	61	1位	大谷翔平	48
2位	イチロー	36	2位	天海祐希	27
3位	武田鉄矢	34	3位	明石家さんま	20
4位	明石家さんま	24	4位	大泉洋	16
5位	阿部寛	17	5位	武田鉄矢	13
6位	所ジョージ	14	6位	マツコ・デラックス	11
	林修	14		櫻井翔	11
8位	大泉洋	13	8位	池上彰	10
	タモリ	13	9位	所ジョージ	9
10位	松岡修造	11		カズレーザー	9

・これまでに最もハマった教師ドラマ 1位は「3年B組金八先生」、20代・30代では「ごくせん」が1位

最後に、これまでに最もハマった教師ドラマについて質問しました。

全回答者（2,000名）に、これまでに最もハマった（夢中になった）教師ドラマ（教師が主人公のドラマ）のタイトルを聞いたところ、1位は「3年B組金八先生」でした。ハマった理由として、「その時代に合ったテーマを取り上げている」などの回答が挙げられました。以降、2位「ごくせん」、3位「GTO」、4位「熱中時代」、5位「教師びんびん物語」となりました。2位の「ごくせん」では「悪者を教師が成敗してスッキリするので」、3位の「GTO」では「ハチャメチャだが筋が通っている」といった回答が理由として挙げられました。

年代別にみると、20代と30代では「ごくせん」、40代以上では「3年B組金八先生」が1位となりました。

また、印象に残っている主人公のセリフでは、1位の「3年B組金八先生」の「ミカンや機械を作っているんじゃないんです。人間を作っているんです」などの不良生徒を腐ったミカンと例えられたことに反論したシーンのセリフが多く挙げられました。そのほか、2位の「ごくせん」では、「私？ 私はそいつらの担任の先生だ」、3位の「GTO」では、「いいじゃねえかよ、お前はお前で」などが挙げられました。

◆これまでに最もハマった（夢中になった）教師ドラマ（教師が主人公のドラマ）のタイトル・ハマった理由（自由回答形式）

※上位10位までを表示

	全体【n=2000】	名	理由（抜粋）	印象に残っている主人公のセリフ（抜粋）
1位	3年B組金八先生	308	その時代に合ったテーマを取り上げている	「ミカンや機械を作っているんじゃないんです。人間を作っているんです」 「人という字はねえ、ひとりの「人」がもうひとりの「人」を支えている字です」
2位	ごくせん	103	悪者を教師が成敗してスッキリするので	「私？ 私はそいつらの担任の先生だ」 「人っていうのはな、一人じゃ何も出来ないんだよ」
3位	GTO	85	ハチャメチャだが筋が通っている	「いいじゃねえかよ、お前はお前で」 「グレートだぜ」
4位	熱中時代	79	教師側のドラマで、裏側を知れたから	「いっかあ〜」
5位	教師びんびん物語	59	先生が熱くて、最後のシーンは感動的	「教育とは、愛だ」
6位	女王の教室	52	学校のネガティブな面もしっかり表していた	「いい加減、目覚めなさい」
7位	御上先生	45	教育問題を取り入れている	「考えて」
	ドラゴン桜	45	勉強の仕方など参考になった	「バカとブスこそ東大へ行け」
9位	飛び出せ！青春	26	生徒のために全力で立ち向かう姿勢	「レッツビギン」
10位	スクール☆ウォーズ	25	熱血で結果を出している	「信は力なり」

【年代別】◆これまでに最もハマった（夢中になった）教師ドラマ（教師が主人公のドラマ）のタイトル（自由回答形式）

※上位3位までを表示

	20代【n=101】	名		30代【n=360】	名
1位	ごくせん	16	1位	ごくせん	49
2位	女王の教室	7	2位	3年B組金八先生	33
3位	御上先生	3	3位	GTO	22
	ドラゴン桜	3			

	40代【n=452】	名		50代【n=556】	名		60代【n=531】	名
1位	3年B組金八先生	56	1位	3年B組金八先生	111	1位	3年B組金八先生	106
2位	GTO	43	2位	熱中時代	35	2位	熱中時代	44
3位	ごくせん	19	3位	教師びんびん物語	31	3位	飛び出せ！青春	23

注：本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、内訳を合計しても100%とならない場合があります。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : 教員の意識に関する調査 2025
- ◆調査対象 : ネットエイジアサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
20歳～69歳の教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）
- ◆調査期間 : 2025年5月26日～6月2日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 2,000名
(内訳)

男性	女性	計
1,283	717	2,000

- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■ ■ 会社概要 ■ ■

- 会社名 : ジブラルタ生命保険株式会社 : The Gibraltar Life Insurance Co., Ltd.
- 本社所在地 : 〒100-8953 東京都千代田区永田町 2-13-10
- 代表者名 : 代表取締役社長 兼 CEO 蕪木 広義 (かぶらぎ ひろよし)
- 営業開始 : 2001年4月3日
- 営業種目 : 個人保険、個人年金保険、団体保険、団体年金保険、再保険



**本ニュースリリースの内容の転載にあたりましては、
「ジブラルタ生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。**

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

ジブラルタ生命保険株式会社 広報チーム 【Tel】 03-5501-6563